

# 令和5年度決算付属資料

- I 主要な施策の成果に関する説明書
- II 基金の運用状況を示す書類

武蔵野市



## I 令和5年度主要な施策の成果に関する説明書

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、令和5年度における主要な施策の成果に関する説明書を提出します。

武蔵野市長 小美濃 安 弘



令和5年度は、第六期長期計画の4年目として、当初予算を「誰もが安心して暮らし続けられるまちへ 平和が続く未来をつくる予算」と位置付け、長期計画に掲げられた各分野の施策を着実に推進するとともに、新たな行政課題にも柔軟に対応し、市民福祉の向上に取り組んでまいりました。併せて、長期計画策定以降に発生したさまざまな社会情勢の変化を踏まえ、実効性を保つための調整計画の策定を進めました。

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更されて以降、長らく停滞を余儀なくされてきた事業が再開し、徐々にこれまでの市民生活を取り戻しつつある一方で、複合的な要因から急激な物価高騰が進み、市民生活に影響を及ぼしています。また、令和6年1月1日に発生した最大震度7の能登半島地震は、甚大な被害を及ぼしました。本市友好都市の中には、震源地の近くに位置している自治体もあり、少なくない被害がありました。お亡くなりになった方々に哀悼の意を表すとともに、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

市民の安全・安心と暮らしを守り、まちの経済と活力を取り戻すため、国や東京都の施策に本市独自の施策を有機的に連携させ、物価高騰対策をはじめとしたさまざまな施策を推進しました。併せて、いつ起こるとも予測できない首都直下型地震や近年、頻発化・激甚化する傾向にある台風、大雨といった自然災害に備え、市民の命、身体及び財産を守るため、市民に最も身近な基礎自治体としての役割を果たすべく努めてまいりました。

以下、令和5年度の主要な施策の成果について、分野別に申し上げます。

### 【健康・福祉分野の成果】

公募市民を含む健康福祉施策推進審議会及び各個別計画の専門部会での検討を経て、本市における地域共生社会の実現を目指し、第4期健康福祉総合計画をはじめとした関連する各計画の策定を進めました。

電力、ガス、食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯に対し、重点支援給付金として、1世帯当たり3万円の給付を行いました。さらに、1世帯当たり7万円の追加給付を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の特例的な臨時予防接種を実施しました。個別接種を中心とし、接種需要に応じた集中的な集団接種の運営をすることで運営経費を抑制しつつ、ワクチン接種を希望する方に安全で確実な接種を行い、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めました。併せて、日本脳炎、麻しん・風しん、肺炎球菌、高齢者インフルエンザ等の定期接種を実施したほか、新たに任意接種である帯状疱疹ワクチン接種費用の助成を開始し、経済的な負担軽減及び接種の促進を図り、発症抑制及び重症化の予防を行いました。

令和4年度に引き続いて、9月を「健康長寿のまち武蔵野推進月間 楽しく！元気に！長生き!!」とし、講演会や講座等のイベントを実施し、高齢者を中心に幅広く市民に対し、認知症に対する正しい理解及びフレイル予防に関する普及・啓発を行いました。また、「ケアリンピック武蔵野2023」を通して、介護・看護事業者における先進的な取り組みを共有し、サービスの質の向上を図るとともに、介護・看護職員が誇りとやりがいを持って働き続けられる機運の醸成を図りました。

地域生活支援拠点等について、地域生活支援ステーションわくらす武蔵野や地域の事業者等と連携しながら事業を開始し、段階的な整備に取り組むことで、障害のある方の生活を地域全体で支える体制整備を推進しました。

第2期武蔵野市公共施設等総合管理計画及び保全改修計画に基づき、高齢者総合センターの大規模改修の実施設計、障害者福祉センターの改築に向けた基本設計を着実に進めるとともに、工事期間中の移転先となる仮設施設を設置するため、設置予定地である旧中町自転車保管所の整地を行いました。

### 【子ども・教育分野の成果】

武蔵野市子どもの権利条例の周知啓発のため、市報・動画等による広報を行い、タブレットを児童生徒等に配布したほか、「武蔵野市子どもの権利の日」イベントを開催し、権利主体である子どもたちとその保護者への認知度向上を図りました。

市立保育園において、医療的ケアが必要な児童の保育に必要な環境と体制整備を進め、医療的ケア児コーディネーターとも連携したうえで児童の受入れを行い、訪問看護による医療的ケアを実施し、安全に配慮した保育を推進しました。

地域の子育て支援ニーズに対応し、多様な主体による子育て支援を推進するため、民間団体による地域子育て支援拠点施設に対する運営費補助を行うとともに、新規施設の開設に向け、運営事業者の公募を実施し、令和6年1月に「ひまわりこそだてひろば RAKURU」を開設しました。

子どもに係る手当や助成等の申請に関して、タブレット等への入力により手続きを行う「書かない窓口」を令和5年9月に導入し、市民へのわかりやすい案内、手続負担の軽減や待ち時間・対応時間の短縮、職員の負担軽減及び業務効率化を図りました。

一部教科の授業を担当に代わって担当する本市独自の市講師の配置を拡充し、小学校高学年における教科担任制を推進することで、教員の働き方改革を進めるとともに、教材研究等の充実による授業の質の向上を図りました。

学校図書館機能の拡充により、開館時間を延長し、児童生徒が放課後に安心して過ごせる居場所や自主学習の場を提供しました。また、学校司書と教員との連絡調整の時間が確保されたことで、調べ学習等各教科の授業における探究活動の場としても活用され、一層の深い学びにつながりました。

各種目の専門性を活かした技術指導や大会の引率等を行う部活動指導員を各校1人から2人に増員し、より効率的・効果的な部活動を推進し、教員の多忙化の解消や持続可能な部活動の体制構築に努めました。

常駐型である家庭と子どもの支援員の配置校を3校から8校に増やし、不登校傾向の児童生徒に対する支援を拡充しました。また、教育相談員とスクールソーシャルワーカーが教育相談や不登校の増加に対応して相談支援を行い、不登校の子どもや困りごとを抱える家庭への多面的支援を行うことで、不登校対策と教育相談を推進しました。

学校施設の老朽化により、段階的な整備が必要に迫られている状況にある中、第一中学校は令和8年1月、第五中学校は令和7年3月からの新校舎使用を目指し、既存校舎の解体工事完了後、建設工事に着手しました。第五小学校及び井之頭小学校改築の基本設計では、新しい時代の学びを実現できる教育環境について、地域住民、保護者、教職員、児童

等のさまざまな関係者と議論を重ね、進めてまいりました。また、学級編制の標準の引下げにより、教室数が不足することが見込まれる関前南小学校は、校舎の増築工事を実施し、小学校35人学級の導入に遅滞なく対応できました。

### 【平和・文化・市民生活分野の成果】

令和5年4月にブルーキャップの活動時間の延長と吉祥寺ミッドナイトパトロール隊による勧誘行為等への指導を開始したことに加え、同年12月には勧誘行為等適正化特定地区の拡張を行い、客引き行為等に対する取組みを強化し、安全・安心を実感できるまちづくりを推進しました。

発災時において、避難所で安全かつ容易に避難者へ飲料水を提供するため、市立小中学校18か所にある災害時用の学校避難所井戸に非常用浄水器を設置し、より安全・安心な飲料水を提供できるよう対応しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により延期の続いていた友好都市との相互交流事業について、感染拡大の収束化に伴って一部を再開することができました。各国友好都市との交流から、参加した青少年及び家族の多様な文化への理解が深まり、広い視野を持つ次世代の育成に寄与しました。

武蔵野公会堂の改修等について、老朽化した設備の更新やバリアフリー化とともに、文化施設としての機能向上を図ることを目的に策定した改修等基本計画に基づき、公募型プロポーザルで設計者を選定し、基本設計を進めました。

5年ごとに更新が必要な陸上競技場の第三種公認検定の基準を満たすため、改修工事及び備品の更新を実施し、質の高いスポーツ施設の利用を引き続き提供できるよう整備しました。

産業振興審議会及び専門部会での審議に加え、多様な市民意見を計画に反映することを目的に市民等ワークショップやトークセッションを実施したうえで、第三期武蔵野市産業振興計画を策定しました。

高まる創業のニーズに応えるため、むさしの創業・事業承継サポートネットの支援機関及び認定創業支援施設と連携し、創業・事業承継の支援を行ったほか、新型コロナウイルス感染症の影響等に対する緊急経済対策として、市内の空き店舗や空き事務所に新店し、かつ、商店会等に加入した中小企業者等に対して支援金を給付し、商店会の活性化に寄与するとともに、活力とにぎわいのあるまちづくりを推進しました。

令和5年度末には、第32回武蔵野桜まつりを5年ぶりに実イベントとして開催し、友好都市との相互交流や桜にちなんだイベント等を行い、郷土愛を育むとともに、地域理解を促進しました。

### 【緑・環境分野の成果】

令和4年度に開催した気候市民会議での議論や意見を踏まえて、市民一人ひとりが当事者として取り組める気候変動対策の具体的な行動と、行動を実践していくために後押しとなる情報を掲載した刊行誌「気候危機打開！むさしの市民エコアクション」を作成し、全戸配布を行いました。また、環境に配慮した取組みを募集し、応募があった取組みについて

エコレポート公式SNSで配信を行ったほか、入賞作品については刊行誌に掲載することで、活動の輪を広げていくきっかけづくりを行いました。

2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、実質再エネ100%の電気に切り替えた家庭に対して協力金を支給したほか、新たに分譲マンションの管理組合も対象に加え、住宅の太陽光発電システム等の省エネ・創エネ機器の設置費用の一部を助成し、市域内のエネルギー使用量の削減と効率的な活用の推進に努めました。また、本市でも小中学校等の高圧受電の公共施設49施設に実質再エネ100%電力を導入しました。

「緑の基本計画2019」について、計画後期の取組みにつなげるため、個別・具体的取組状況の把握・検証や学識者へのヒアリングを行い、「緑の基本計画2019中間まとめ」を策定しました。

魅力的で安全・安心な潤いある都市環境の推進を目指し、公園施設の改修を行うとともに、子どもたちの遊び場の充実を図るため、千川さんかく公園の新設、西久保はらっぱ公園の拡充、中央高架下公園及び西久保児童公園のリニューアル工事等を実施するとともに、吉祥寺東町二丁目の十一小路緑地の用地の買戻しを行い、地域のニーズに合った魅力ある公園・緑地の創出に寄与しました。

民有地の緑を守る一環として、保存樹林等の指定制度により、助成金の交付、樹木医の派遣、倒木保険への加入等、所有者の適正な維持管理の支援と負担軽減を図り、民有地の緑の保全を推進しました。

#### 【都市基盤分野の成果】

令和4年度末に作成した「吉祥寺パークエリアまちの将来像立案に向けて」の周知とともに、オープンハウスや社会実験等を実施し、市民やまちの関係者に対して、まちの将来像立案に向けた機運醸成を図りました。また、同時期に作成した「吉祥寺駅南口交通環境基本方針の策定に向けた考え方」に基づき、関係機関との意見交換や技術的検討を行い、吉祥寺駅南口を中心とした交通環境の改善に向けた検討を行いました。

吉祥寺本町一丁目27番街区における自転車駐車場の新設工事を実施し、吉祥寺クックロード自転車駐車場として11月1日に供用を開始したことに伴い、同23番街区の吉祥寺駅東暫定一時利用自転車駐車場を閉鎖し、吉祥寺クックロード自転車駐車場への集約化を行いました。

令和4年度に実施した「三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向けた考え方」に対する地域の方々等との意見交換を踏まえて、「三鷹駅北口交通環境基本方針」の策定・周知を行い、関係者への理解向上を図りました。

武蔵野プレイス西側の都市計画道路3・4・27号線について、武蔵境駅周辺における交通環境の変化等を踏まえた方向性を示したうえで検討を進め、令和6年1月に都市計画変更（原案）についての説明会を実施しました。

武蔵野市下水道ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設全体を対象とした計画的な点検・調査及び修繕・改築による安定的・持続的な下水道機能の確保と、下水道施設全体の計画的・効率的な管理による下水道サービスの提供を実現するための体制整備に向けて、令和6年度からの長期包括契約方式の試行的導入の準備等を進めました。

## 【行財政分野の成果】

令和6年度からの5年間を計画期間とする武蔵野市第六期長期計画・調整計画を、市民委員で構成される策定委員会を中心に、市民参加、議員参加、職員参加をはじめとする「武蔵野市方式」により策定しました。また、計画案の段階から市報特集号にて周知をしたほか、公募で集まった中高生によるPR動画等を作成・公開し、計画の周知に努めました。

旧赤星鉄馬邸の利活用検討について、有識者会議の開催及び意見聴取・周知のための社会実験、一般公開等を踏まえ、有識者や市民等からの助言・意見等を報告書としてとりまとめ、保存活用計画の策定に進むための検討を行いました。

第5期指定管理者制度に関する基本方針等に基づき、次期指定管理者を公募する3施設に係る募集要項や要求水準書、選定基準等について、指定管理者候補審査委員会での意見を踏まえて作成し、事業者選定の準備を整えました。

市民サービスを継続的に提供するため、住民情報系システムを運用するための仮想化基盤の更改により、安定して利用できる環境整備を進めるとともに、地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づき、国が定める標準化基準に適合させるため、各業務システム改修の検討を行ったほか、ガバメントクラウド利用の実証事業を行いました。

市民課、市政センター及び市民税課の窓口における各種証明書の交付手数料について、自動釣銭機付きPOSレジ及びキャッシュレス決済を導入した結果、窓口全体で、支払手数料の約15%がキャッシュレス決済の利用となったとともに、自動釣銭機の導入によって効率的な釣銭の受渡しが可能となり、来庁者の利便性の向上と職員の負担軽減につなげることができました。

次に、令和5年度の一般会計歳入歳出決算の概要を申し上げます。

歳入決算額は793億9853万3千円で、前年度と比べ1億2659万1千円、0.2%の増となりました。新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金8億3225万円の減、同ワクチン接種対策費負担金4億3121万2千円の減といった国庫支出金の減はあるものの、市税収入が堅調に推移し、増となったことにより、全体としては前年度に比べ微増となりました。

市税収入全体では447億8059万円で、前年度と比べ16億4819万7千円、3.8%の増となりました。固定資産税は、土地に係る負担調整措置等により、前年度比13億2945万5千円、7.7%の増となり、個人市民税は、今般の労務単価上昇による所得増の影響等により前年度と比べ5億5723万7千円、3.0%の増となりました。

また、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業等の財源として財政調整基金から2億5077万4千円の繰入れを行いました。公園緑化基金繰入金が前年度と比べ4億7196万2千円の減、学校施設整備基金繰入金が前年度と比べ3億4千万円の減となったこと等により、繰入金全体では前年度と比べ14億8228万6千円の減となりました。市債は、自転車対策事業に伴う借入れの減等により、前年度比3億6400万円の減となりました。

歳出決算額は761億7840万5千円で、前年度と比べ10億6432万1千円、1.4%の増となりました。新型コロナウイルスワクチン接種事業10億1354万2千円や緊急経済対策として実施したくらし地域応援券事業8億6524万7千円の減はあるものの、住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業3億1349万4千円の増、障害者自立支援給付等事業3億4537万7千円の

増、住民情報系システムの仮想化基盤移行及び標準化対応 2 億649万 9 千円の増、带状疱疹ワクチン接種 1 億3648万 4 千円の増、小学校改築事業 1 億2732万 6 千円の増のほか、今後迎える公共施設の大更新期への備えとして、公共施設整備基金積立金 9 億8342万 5 千円の増、学校施設整備基金積立金 6 億8862万 4 千円の増などの必要な措置を講じました。

国及び都支出金の確保、世代間の負担の公平性や後年度の財政負担などに配慮したうえでの市債の活用、基金の取崩しなどにより財源を確保し、適正な財政運営に取り組んでまいりました。令和 5 年度の歳入歳出差引額は32億2012万 8 千円、次年度への繰越財源8474万 5 千円を除いた実質収支額は、31億3538万 3 千円、前年度比 8 億4033万 5 千円、21.1%の減となりました。

現在の財政状況は健全な水準を維持しているといえますが、今後、歳出面では社会保障費にあたる扶助費や保険給付費の増加、老朽化した公共施設及び都市基盤の更新費用等の大幅な増加が見込まれています。ウクライナ情勢や円安等を起因とする見通しの立たない物価高騰が続いている中、欧米における金利水準の高止まりや中国における不動産市場の停滞といった海外景気の下振れが国内経済にも影響を及ぼしており、短期間で為替や株価が乱高下する等、これまで以上に社会情勢の変化が著しく、不確実性が増しています。限りある財源を活用して持続可能な市政運営を進めていくとともに、長期計画に掲げた事業を着実に実施し、「誰もが安心して暮らし続けられる 魅力と活力があふれるまち」であり続けられるよう、引き続き取り組んでまいります。

## 令和5年度主要な施策の概要と成果一覧

(金額欄における予算は当初予算を計上)

### (1) 健康・福祉

#### 基本施策1 まちぐるみの支え合いを実現するための取組み

	事業名	金額(千円)	施策の概要と成果
1	シニア支え合いポイント制度の推進  《民生費○一般管理経費》《介護保険事業会計 地域支援事業費○一般介護予防事業費》 [地域支援課、高齢者支援課]	予算 3,627 決算 3,417	介護予防、健康寿命の延伸等を目的に、シニア支え合いサポーターの育成、協力施設・団体等の拡充を引き続き進めた。説明会を11回(うち出張説明会1回)実施し、73人が新たにシニア支え合いサポーターとなり、令和6年3月31日時点で登録者は548人となった。  介護人材のすそ野の拡大を図り、まちぐるみの支え合いを推進した。
2	いきいきサロン事業  《民生費○社会参加促進事業》 [高齢者支援課]	予算 8,191 決算 6,124	いきいきサロン運営団体に対して運営費補助及び開設・運営支援を行い、介護予防のための通いの場を提供した。事業の充実を図るため、利用者及び運営団体アンケートを実施し、現状把握に努めた。また、「健康長寿のまち武蔵野推進月間」において利用者の活動発表及び作品展覧を行い、利用者の意欲向上及び事業の周知を図った。  新たに3か所のサロンを開設し、24か所のいきいきサロンが事業を行った。高齢者の社会的孤立感の解消と健康寿命の延伸を図り、住み慣れた地域での在宅生活の継続に寄与した。
3	健康長寿のまち武蔵野推進月間の実施  《民生費○社会参加促進事業》 [高齢者支援課]	予算 2,549 決算 1,624	令和4年度に引き続き、9月を「健康長寿のまち武蔵野推進月間 楽しく！元気に！長生き!!」とし、講演会等の事業を実施した。9月23日に実施したイベントにおける市民の新規参加者率は半数を超え、幅広い普及・啓発を実施した。 令和6年2月の「いきいき健康 地域プロジェクト」は、地域におけるフレイル予防の実践の場と位置付け、在宅介護・地域包括支援センターのある各圏域で運動及びフレイル予防に関する講座を実施した。また、9月に実施した「健康長寿のまち武蔵野推進月間」のイベントをきっかけにイベント参加者が地域プロジェクトのボランティアの担い手として活動した。  高齢者を中心に幅広く市民への認知症に対する正しい理解及びフレイル予防に関する普及・啓発を図った。
4	レモンキャブ事業  《民生費○移送サービス事業》 [高齢者支援課]	予算 27,566 決算 27,022	地域住民が運転する福祉型軽自動車により移送サービスを実施した。福祉有償運送の更新登録を行い、有効期間を令和8年9月まで更新した。また、運行協力員の確保・継続に向けた協力費の増額、それに伴う利用料金の変更等の手続きを行い、令和6年4月利用分から変更した。  公共交通機関を利用することが困難な方の外出を支援することで、社会参加の促進及び社会福祉の向上に寄与した。
5	テンミリオンハウス事業  《民生費○テンミリオンハウス事業》 [高齢者支援課]	予算 154,281 決算 141,351	テンミリオンハウスを運営する団体に対して運営費・維持管理費補助及び運営支援を行い、ミニデイサービスなど地域の実情に応じた事業を実施した。月見路の内外装等改修工事を行い、劣化保全を図った。  地域の人材・建物を活用した誰もが集える支え合いの場の運営を通して、高齢者の生活支援及び見守りを行い、地域とのつながりの向上に寄与した。
6	障害者の権利を守る取組み  《民生費○一般管理経費、○地域生活支援事業》 [障害者福祉課]	予算 1,070 決算 1,020	各種事業の実施を通じて権利擁護を推進した。 ・心のバリアフリー出前講座 16回実施 計1,198人参加 ・親なき後講座 講演会 1回 55人参加 講座 3回 計55人参加 個別相談会 3回 計9人実施 その他事業 3回 計8人受講  障害のある方への理解を深める取組みを推進することで、誰もが安心して暮らせる支え合いのまちづくりに寄与した。

7	地域生活支援拠点の段階的整備  《民生費○地域生活支援事業》 [障害者福祉課]	予算 決算	7,204 6,548	令和5年度は、地域生活支援ステーションわくらす武蔵野や地域の事業者等と連携しながら事業を開始し、主として知的障害のある方の緊急時対応等について検討を実施した。 令和5年度末時点の地域生活支援拠点等の機能を担う事業所数：11事業所  地域生活支援拠点等について、段階的な整備に取り組むことで、障害のある方の生活を地域全体で支える体制を推進した。
8	食育推進事業  《衛生費○食育推進事業》 [健康課]	予算 決算	1,543 801	保健センターにおいて「むさしの食育フェスタ」を開催し、食育の周知を図った。 ・令和5年11月25日（土）開催、来場者数515人  食育に関するさまざまな取組みを広くPRすることで、市民の健康に関する関心を高めることに寄与した。
9	がん検診等事業の推進  《衛生費○老・成人保健事業》 [健康課]	予算 決算	218,019 179,901	胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、乳がん検診及び子宮頸がん検診を実施した。子宮頸がん及び乳がん検診対象者には全員へ受診勧奨を行った。  受診者数：胃がん検診 1,562人 肺がん検診 1,268人 大腸がん検診 17,085人 乳がん検診 3,962人 子宮頸がん検診 7,452人  がんを早期発見し、治療への勧奨を行うことで、がんによる死亡率減少を目指す取組みを推進した。
10	若年層健康診査  《衛生費○老・成人保健事業》 [健康課]	予算 決算	13,602 11,356	受診機会のない若年層（16歳から39歳まで）に健康診査を実施した。 受診者数 841人  若年期からの受診習慣の形成、生活習慣病予防及び健康管理への意識改善に寄与した。
11	歯科健康診査事業  《衛生費○歯科衛生事業》 [健康課]	予算 決算	86,651 85,311	40歳以上の市民を対象に、歯科健康診査を実施した。 受診者13,362人、受診率15.1%（前年度比7.2%増）  将来的な国民皆歯科健診を見据え、対象者全員に受診券を発送することで、健診を受けやすい環境を整え、健診をきっかけとしたかかりつけ歯科医機能を推進した。
12	第4期健康福祉総合計画及び各個別計画の策定  《各款共通○一般管理経費、○障害者自立支援給付等事業》 [地域支援課、高齢者支援課、障害者福祉課、健康課]	予算 決算	29,040 28,346	公募市民を含む健康福祉施策推進審議会及び各個別計画の専門部会での検討を経て、第4期健康福祉総合計画・第6期地域福祉計画・第2期成年後見制度利用促進基本計画・再犯防止推進計画、高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画、障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画、第5期健康推進計画・食育推進計画・自殺総合対策計画を策定した（決算額は4款衛生費分6,236千円を含む）。
13	国民健康保険データヘルズ計画・特定健康診査等実施計画の改定  《国民健康保険事業会計 保健事業費○健康保持増進事業》 [保険年金課、健康課]	予算 決算	8,000 7,957	健康・医療データ（特定健康診査、レセプト等）の分析、被保険者へのアンケートの実施、健康課題の明確化及び効果的かつ効率的な保健事業の立案を行い、計画の改定を行った。  令和5年7月～9月 被保険者アンケート実施 令和5年11月 国民健康保険運営協議会諮問 令和6年1月 国民健康保険運営協議会継続審議 令和6年2月 国民健康保険運営協議会答申 令和6年3月 計画改定  国民健康保険被保険者の健康寿命の延伸と生活習慣病にかかる医療費の適正化を図る計画とした。

## 基本施策2 生命と健康を守る地域医療充実への取組みと連携の強化

14	在宅医療・介護連携推進事業  《民生費○在宅医療・介護連携推進事業》 [地域支援課]	予算 決算	8,797 7,106	在宅医療と介護の連携における課題の抽出と対応策の検討を行う「在宅医療・介護連携推進協議会」を2回開催した。医療と介護関係者の多職種連携を推進するための研修「災害時における医療と介護の連携」（医療・介護関係者：50人）を集合形式で行った。多職種による連携を推進し、医療と介護サービスを一体的に提供し、市民が「いつまでも住み慣れた地域」での生活が続けられる体制の構築を推進した。
15	高齢者施設及び障害者施設におけるPCR検査等費用助成事業  《民生費○介護保険事業》 [高齢者支援課、障害者福祉課]	予算 決算	2,310 3,517	新型コロナウイルス感染症について、重症化するリスクの高い施設等の利用者及び職員のPCR検査等を実施した事業者に対して、その費用を本市の独自事業として助成した。  5類に移行後も、入居施設を中心に検査を行うことで、新型コロナウイルス感染症拡大防止に寄与した。
16	武蔵野赤十字病院への支援  《衛生費○一般管理経費》 [健康課]	予算 決算	83,000 83,000	高度急性期医療及び三次救急医療機関であるほか、災害拠点病院の役割を担っている武蔵野赤十字病院に対して、補助を行った。 ・武蔵野市赤十字病院新病棟建設等補助金 70,000千円 ・小児・産婦人科救急医療運営費補助金 13,000千円  病棟の建替えに伴うがん医療対策や周産期医療のさらなる充実等に寄与した。
17	予防接種事業  《衛生費○予防接種事業》 [健康課]	予算 決算	559,985 631,718	予防接種法に基づき、定期接種を実施した。また、おたふくかぜ予防接種、成人の風しん抗体検査・予防接種等の任意接種について、費用助成を実施した。  日本脳炎、麻しん・風しん、肺炎球菌、高齢者インフルエンザなどの定期接種を実施し、感染症の予防対策を図った。また、任意接種では、新たに帯状疱疹ワクチン接種費用の助成を開始し、経済的負担軽減及び接種の促進により、帯状疱疹の発症抑制及び重症化の予防に貢献した。
18	新型コロナウイルスワクチン接種事業  《衛生費○新型コロナウイルスワクチン接種事業》 [健康課]	予算 決算	872,648 445,331	国の指示に基づき、新型コロナウイルス感染症に係る特例的な臨時予防接種を実施した。初回接種（1・2回目）、令和4年秋開始接種、令和5年春開始接種及び令和5年秋開始接種を個別接種及び集団接種にて実施した。  個別接種を中心とした実施や、接種需要に応じた集中的な集団接種の運営をすることで運営経費を抑制した。令和5年秋開始接種の市民接種者数は、31,670人、65歳以上人口に対する接種率は57.6%  ワクチン接種を希望する方に安全で確実な接種を実施し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に寄与した。

## 基本施策3 安心して暮らし続けられるための相談支援体制の充実

19	避難行動支援体制の整備  《民生費○一般管理経費、○社会福祉協議会事業》 [地域支援課]	予算 決算	2,385 1,579	災害時要援護者及び避難行動要支援者の名簿について、令和6年2月に更新したものと入れ替えた。  更新後の避難行動要支援者数は3,043人で、名簿登録者には登録した旨の通知を送付した。  災害時要援護者並びに未同意の避難行動要支援者の安否確認及び避難支援を速やかに実施するための体制整備を推進した。
20	成年後見制度連携ネットワークと成年後見利用支援センターの運営  《民生費○一般管理経費、○権利擁護事業》 [地域支援課]	予算 決算	8,345 8,150	制度の利用促進の中核機関である「武蔵野市成年後見利用支援センター」が制度の総合相談や普及啓発事業を実施したほか、「武蔵野市成年後見制度地域連携ネットワーク連絡協議会」を2回開催し、関係機関の連絡調整を行い、市民がたとえ判断能力が不十分になったとしても、地域で暮らし続けることができる体制の構築を推進した。

21	電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金  《民生費○住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業》 〔地域支援課〕	予算 決算	0 1,334,695	電力、ガス、食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯（令和5年度住民税非課税世帯等）に対して、1世帯当たり3万円の給付（12,526世帯）及び追加分として1世帯当たり7万円の給付（12,841世帯）を実施した。  物価高騰による家計への影響が特に大きい低所得世帯の負担軽減に寄与した。
22	物価高騰対策給付金（令和5年度住民税均等割のみ課税給付・令和5年度子ども加算）  《民生費○住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業》 〔地域支援課〕	予算 決算	0 5,177	物価高騰の負担感が大きい低所得世帯への負担の軽減を図るため、令和5年度住民税均等割のみ課税世帯に対して1世帯当たり10万円、令和5年度住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯に対して同一世帯にいる18歳以下の児童1人当たり5万円を支給するためのシステム改修等、給付に向けた準備を行った。
23	福祉総合相談窓口  《民生費○重層的相談支援体制推進事業》 〔生活福祉課〕	予算 決算	12,924 12,474	「8050問題」やひきこもり等の多様な複合的な課題を抱える方からの相談窓口として、令和3年4月に設置した福祉総合相談窓口について、引き続き個々の相談に対し分野横断的に関係機関と連携しながら課題の解決に向けた包括的・継続的支援を行った。 ・新規相談件数 137件 ・延相談件数 762件 地域で生活する方がひきこもりに対して正しい理解を持つことを目的として、令和4年度から講演会を開催している。令和5年度は講演会の動画配信を行い、会場参加60人、動画配信75人の申込みがあった。  重層的な相談支援の実施により、地域共生社会の推進に寄与した。
24	生活困窮者自立支援事業  《民生費○生活困窮者自立支援事業》 〔生活福祉課〕	予算 決算	131,656 63,878	生活困窮に関する相談や各種支援事業とともに、本市独自支援策として住居契約更新料給付金及び生活困窮者特別就職支援金の支給を行った。 ・生活困窮相談件数 388件 ・自立相談支援事業新規相談件数 172件 ・住居確保給付金新規支給決定件数 21件 ・就労準備支援事業実利用者 12人 ・学習支援事業実利用者 27人 ・家計改善支援事業実利用者 23人 ・生活困窮者住居契約更新料給付金支給決定件数 3件 ・生活困窮者特別就職支援金支給決定件数 初回10件 継続13件  包括的な相談支援を実施することにより生活困窮者の早期自立を支援した。住居確保給付金受給者の16.7%が受給中に常用就職に至り特別就職支援金を受給し、定着支援により約60%が6か月以上の就労継続に至った。
25	被保護世帯援護事業  《民生費○生活保護法による扶助事業》 〔生活福祉課〕	予算 決算	3,768,846 3,668,222	被保護世帯に生活保護法に基づき、生活扶助、住宅扶助、医療扶助等各種扶助を行った。 ・延世帯数 20,055世帯 ・延人員数 22,745人  困窮状態にある生活保護世帯の健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、可能な方に対する就労支援等の経済的・社会的自立の助長を行った。 ・就労による保護廃止世帯 37世帯
26	高齢者等緊急訪問介護事業（レスキューヘルパー事業）  《民生費○高齢者日常生活支援事業》 〔高齢者支援課〕	予算 決算	2,924 1,556	ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の方が急病などで一時的に支援が必要な場合にヘルパーを派遣し、入浴介助等の身体介助や生活援助（掃除、洗濯及び買い物）のサービスを提供した。 高齢者本人・家族が新型コロナウイルスに感染し自宅療養となった際にレスキューヘルパー（高齢者等緊急訪問介護）を派遣し、身体介護や生活援助のサービスを提供した。  本事業により、ひとり暮らし又は高齢者のみ世帯の高齢者が住み慣れた地域で継続して生活を送ることができるよう支援した。 感染症対応レスキューヘルパー事業については、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、利用実績が減少した。

27	認知症高齢者支援事業	予算 決算	14,837 9,376	普及・啓発を通して認知症への理解を深めるとともに、認知症初期集中支援チームの設置、相談事業及び見守り支援事業の充実により在宅生活を支援した。(介護保険事業会計を含む。予算額：1,434千円、決算額：743千円)  認知症のある人や関わる方などが誰でも自由に集い、交流するサロンとして認知症サポーターステップアップ講座を修了したボランティアが運営する認知症カフェを開催した。また認知症高齢者見守り支援事業における利用者数は増加した。  認知症高齢者を介護している家族の身体的・精神的負担の軽減を図り、認知症高齢者や介護者が安心して暮らせるまちづくりに寄与した。
	《民生費○認知症高齢者支援事業》 《介護保険事業会計 地域支援事業費○包括的支援事業・任意事業費》 [高齢者支援課]			
28	家族介護用品支給事業	予算 決算	18,394 17,739	令和5年度から物価高騰等への対応として、支給限度額を月額8,000円から9,000円に引き上げ、住民税非課税世帯で、中・重度の要介護高齢者本人及びその本人を在宅で介護している家族に対し、紙おむつ等の介護用品を支給した。  社会情勢の変化に適切に対応し、継続した支援を実施することができた。
	《介護保険事業会計 地域支援事業費○包括的支援事業・任意事業費》 [高齢者支援課]			

#### 基本施策4 福祉人材の確保と育成に向けた取組み

29	地域包括ケア人材育成センター事業	予算 決算	21,263 21,263	人材養成事業、研修・相談事業、就職支援事業及び事業者・団体支援事業の4つの事業を一体的に展開した。対面及びオンラインを併用した研修や、SNSを活用した広報、医療的ケアに従事する介護職員の養成など、本市のニーズに合った介護人材の確保及び育成を行うことができた。
	《民生費○福祉人材確保育成事業》 [地域支援課]			
30	ケアリニック武蔵野2023	予算 決算	3,000 2,983	介護・看護職員が誇りとやりがいを持って働き続けられるよう支援した。永年従事者表彰により、介護・看護職員のモチベーション向上に寄与した。介護報酬改定に向けて、介護事業所のDX推進の体験ができ、システム導入が進んだ。補聴器の相談に多くの市民が来館した。  「まちぐるみの支え合いの仕組みづくり」に向けて、介護・看護事業者における先進的な取組みを共有し、サービスの質の向上に貢献した。
	《民生費○介護保険事業》 [高齢者支援課]			
31	介護職・看護職Reスタート支援金	予算 決算	7,000 5,150	介護職等の人材確保のため、市内の介護施設や障害者施設等に就職した方に対し、支援金を給付した。  令和4年度を上回る支給件数となり、市内事業所の従業員の充足に貢献し、持続可能な福祉サービスの提供につながった。
	《民生費○介護保険事業》 [高齢者支援課]			

#### 基本施策5 新しい福祉サービスの整備

32	市有地活用による看護小規模多機能型居宅介護事業者の公募事業	予算 決算	3,919 1,249	中・重度の要介護者の医療ニーズに対応するため、武蔵野市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画に基づき、吉祥寺南町三丁目市有地を活用した看護小規模多機能型居宅介護を整備・運営する事業者の公募を実施し、事業者を選定した。
	《民生費○介護保険施設等整備事業》 [高齢者支援課]			
33	高齢者総合センター大規模改修工事実施設計	予算 決算	44,839 33,550	第2期武蔵野市公共施設等総合管理計画及び保全改修計画に基づき、令和6年度から令和7年度までの大規模改修工事を行うため、実施設計を予定通り作成した。
	《民生費○高齢者総合センター管理運営事業》 [高齢者支援課]			
34	高齢者総合センター・障害者福祉センター仮施設設置関連工事	予算 決算	28,813 22,330	高齢者総合センター大規模改修及び障害者福祉センター改築工事期間中の移転先となる仮施設を設置するため、設置予定地である旧中町自動車保管所の敷地内の支障物を撤去し、フェンスの設置やインフラ接続工事等を実施した。
	《民生費○高齢者総合センター管理運営事業》 [高齢者支援課、障害者福祉課]			

35	障害者福祉センター改築工事 基本設計・実施設計  《民生費○障害者福祉センター管理 運営事業》 [障害者福祉課]	予算 決算	12,600 13,700	障害者福祉センターの改築に向けて基本設計を実施し、令和7年度末の着工、令和10年度に新施設の供用開始を目指す。  令和5年度は基本設計を完成させ、議会報告・公表を行った。令和6年度は実施設計及び武蔵野市まちづくり条例等に基づく手続等を引き続き実施する。
36	保健センター増築及び複合施設 整備事業  《衛生費○保健センターの管理運 営》 [企画調整課、健康課、子ども子育て 支援課]	予算 決算	81,167 29,726	保健センターの増築及び大規模改修を行い、保健衛生機能を充実させ、かつ、子どもと子育て家庭への支援施設を含む複合施設として整備する。  令和5年度は前年度から引き続き進めてきた基本設計を完了した。実施設計については、市議会全員協議会での議論を踏まえ、一度立ち止まり、市議会と改めてよく協議をしながら進めていくこととした。

## (2) 子ども・教育

### 基本施策1 子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり

1	子どもの最善の利益を尊重する 社会の実現に向けた取組み  《総務費○児童対策事業》 [子ども子育て支援課]	予算 決算	22,654 13,220	武蔵野市子どもの権利条例の周知啓発のため、市報・動画等による広報のほか、リーフレットを児童・生徒等に配布した。また、子どもの権利の日イベントを開催した。  令和5年度武蔵野市子どもの学習・生活に関する調査報告書によると、「子どもの権利」の認知度（小学6年生、中学3年生対象）は全体では、「内容を知っている」（53.7%）と「名前だけ知っている」（39.2%）を合計した《知っている》が92.9%となっており、権利主体である子どもたちに認知されていることが確認された。
2	第六次子どもプラン武蔵野の策 定  《総務費○児童対策事業》 [子ども子育て支援課]	予算 決算	9,677 9,306	第六次子どもプラン武蔵野の策定に向けて、子ども・子育て支援に関するアンケート調査等各種アンケートを実施した。また、計画策定にあたり、検討すべき課題を抽出するとともに、基本理念や基本施策の検討を行った。  より良い計画の策定に向けて、利用者ニーズや事業満足度を把握することができた。
3	放課後等デイサービス施設 「パレット」の運営  《民生費○放課後等デイサービス事 業》 [障害者福祉課]	予算 決算	46,377 45,877	放課後等デイサービス施設「パレット」にて、肢体不自由児や医療的ケア児等に対する安定した支援を継続実施した。 令和6年3月末時点パレット在籍者数 22人  通所により創作的活動、機能訓練等の各種のサービスを提供し、身体障害者の自立と社会参加を促進した。
4	子ども家庭支援センター事業  《民生費○子ども家庭支援センター 事業》 [子ども子育て支援課]	予算 決算	50,204 39,111	子どもとその家庭に対する相談事業などを実施し、子育て支援ネットワークの中核機関として関係機関の連携を進め、子育てに不安を持つ家庭を適切に支援した。  児童福祉機能及び母子保健機能の円滑な連携のため、児童福祉法改正に伴い、両機能の指揮命令系統の一体化を図り、こども家庭センターを設置した。
5	子ども・子育て支援事業  《民生費○子ども・子育て支援事 業》 [子ども子育て支援課]	予算 決算	68,166 64,868	子育て世代包括支援センターの運営を行い、妊娠期からの切れ目ない支援を行った。児童福祉法等改正に伴い、こども家庭センター及び地域子育て相談機関の設置に向けた準備を行い、リーフレットを作成した。共助による子育てひろば事業やボランティア養成講座を実施し、多様な主体による子育て支援の充実を図った。ファミリー・サポート・センター事業を実施し、地域の相互援助活動による子育て家庭への支援を行った。「ゆりかごむさしの面接」を行った妊婦に対して「子ども・子育て応援券」を配付した。特設サイトの開設及びチラシ・ポスターを作成し、「子ども・子育て応援フェスタ」を実施した。  ・育児パッケージ配付 1,180件 ※健康課と共管 ・共助による子育てひろば事業実施コミセン数 7か所 ・子育てひろばボランティア養成講座 実参加者数35人 ・ファミリー・サポート・センター事業 活動件数 延2,791件 ・ベビーカー貸出しサービス事業 実施か所数 4か所16台（一部休止） ・むさしのすくすくナビ 登録者数 8,608人（令和5年度末時点）  妊娠期から全ての子どもと子育て家庭が地域で孤立することなく安心して暮らすことができる環境づくりを進めた。

6	児童手当支給事業  《民生費○児童手当支給事業》 [子ども子育て支援課]	予算 決算	1,539,313 1,438,839	中学校修了前の児童の保護者に児童手当又は特例給付を支給した(所得制限あり)。 ・児童手当 支給額 1,279,265,000円、受給者数 6,299人、対象児童数 9,284人 ・特例給付 支給額 159,340,000円、受給者数 1,709人、対象児童数 2,581人  家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に貢献した。
7	児童扶養手当等支給事業  《民生費○児童扶養手当等支給事業》 [子ども子育て支援課]	予算 決算	391,894 371,231	ひとり親家庭等や障害のある児童の保護者に児童扶養手当及び児童育成手当を支給した(所得制限あり)。 ・児童扶養手当支給額 205,489,940円、受給者数 415人 ・児童育成手当支給額 158,171,000円、対象児童数 922人  ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進に寄与し、もって児童の福祉を増進した。
8	母子保健事業  《衛生費○母子保健事業》 [健康課、子ども子育て支援課]	予算 決算	289,489 238,767	保健師などの専門職が全ての妊産婦とその家族に寄り添い支援を行った。また、子ども部門との連携強化により切れ目のない相談支援を行った。退院直後から母子に対して心身のケア、育児のサポート等を行う産後ケア事業を実施した。 産後ケア事業について、要件緩和やWeb申請環境の整備により、登録者数は前年度比1.9倍になった。また、新たに市内2か所で事業を開始し、拡充した。  子ども一人ひとりの健やかな成長とともに、妊産婦及び乳幼児の健康保持・増進に寄与した。
9	出産・子育て応援事業  《衛生費○母子保健事業》 [健康課、子ども子育て支援課]	予算 決算	125,533 44,645	妊娠から出産・子育てまで一貫して寄り添いながら相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図り、出産・子育て応援ギフトの支給による経済的支援を一体的に実施した。 (令和5年度 経済的支援支給実績) 出産応援ギフト1,003件、子育て応援ギフト 956件  全ての妊産婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境づくりの一助となった。

## 基本施策2 安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援

10	私立幼稚園等園児保護者に対する助成事業  《総務費○私立幼稚園等助成事業》 [子ども育成課]	予算 決算	670,080 578,709	幼児教育・保育の無償化に伴う施設等利用費の給付、第2子以降の満3歳児の預かり保育料に対する補助、給食費等について補助を行った。また、幼児教育を行う多様な集団活動事業の利用についても支援を行った。  子育て家庭の経済的な負担軽減を図り、幼児教育の充実に貢献した。
11	私立幼稚園に対する補助及び給付事業  《総務費○私立幼稚園等助成事業》 [子ども育成課]	予算 決算	120,366 115,401	市内幼稚園に対して引き続き支援を行うとともに、新制度に移行した幼稚園に対して、国の公定価格に基づき給付を行った。  市内幼稚園への給付を通じて幼児教育の振興の一助となった。
12	一時預かり事業(幼稚園型)の充実  《総務費○私立幼稚園等助成事業》 [子ども育成課]	予算 決算	63,290 77,765	子ども・子育て支援新制度に基づく一時預かり事業(幼稚園型)への移行を促すとともに、おおむね年間250日開園するなど充実した預かり事業を行っている幼稚園に対して継続して補助を行った。  一時預かり事業の実施を通じて、保護者の負担軽減等につなげることができた。

13	子どもの手当・助成に関する窓口DXの試行 (書かない・待たない・スムーズな窓口の実現)	予算 決算	7,642 2,506	子どもに係る手当、助成等の申請に関して、タブレット等への入力により手続を行う「書かない窓口」を9月に導入した。ひとり親に関する新規申請では、申請者氏名など、多いもので10回以上書いていた内容が1回の入力となり、市民の負担の軽減と時間の短縮につながった。また、子どもに関する手当、助成に関する手続きの案内ガイドをホームページに公表することで、自宅から市民が自分がどの制度を申請することができるのかを、調べることが可能となった。  市民(来庁者)へのわかりやすい案内、手続負担の軽減や待ち時間・対応時間の短縮、職員の負担軽減と業務の効率化につながった。
	《民生費〇一般管理経費》 [子ども子育て支援課、情報政策課]			
14	子どもの医療費助成事業	予算 決算	697,981 875,089	乳幼児、義務教育就学児及び高校生等の保険診療自己負担分を助成した(所得制限・自己負担なし)。高校生等医療費助成事業は、令和5年度から東京都制度に移行した。 ・医療費助成額 乳幼児 306,766,905円 義務教育就学児 425,603,265円 高校生等 113,428,565円  ・対象児童数 乳幼児7,290人、義務教育就学児10,968人、高校生等3,292人 ・助成件数 乳幼児167,293件、義務教育就学児179,600件、高校生等42,945件  子育て世帯の経済的な負担軽減を図り、必要な医療を安心して受けられる環境を整備し、全ての子どもの保健の向上と健やかな成長に寄与した。
	《民生費〇子どもの医療費助成事業》 [子ども子育て支援課]			
15	0123施設の管理運営	予算 決算	146,531 134,416	(公財)武蔵野市子ども協会に管理運営を委託し、0歳から3歳までの乳幼児の豊かな育ちとその親の子育てを支援した。開館時間の延長及び4・5歳児支援の試行を実施した。 ・延利用者(子ども)数 吉祥寺 9,338人、はらっぱ 18,950人  子どもたちが自由にのびのびと遊べる場、親同士の交流の場を提供し、乳幼児の豊かな育ちや子育てに寄与した。
	《民生費〇0123施設の管理運営》 [子ども子育て支援課]			
16	すくすく施設事業	予算 決算	15,800 15,712	子育てひろば・小規模保育事業・一時預かりの3つの機能を持つ子育て支援施設「すくすく泉」の運営を行うNPO法人いずみの会に対して、運営費を補助した。 ・延利用者(子ども)数 4,811人  地域の力と特性を生かした子育て支援サービスを提供し、多様化する子育て支援ニーズに応えた。
	《民生費〇すくすく施設事業》 [子ども子育て支援課]			
17	民間子育て支援施設事業	予算 決算	65,816 42,707	民間団体による地域子育て支援拠点施設に対する運営費補助を行うとともに、新規施設の開設に向け、運営事業者の公募を実施した。令和5年度は1団体(NPO法人 保育サービス ひまわりママ)を採択し、令和6年1月、「ひまわりこそだてひろば RAKURU」が開設された。  地域の子育て支援ニーズに対応し、多様な主体による子育て支援を推進した。
	《民生費〇民間子育て支援施設事業》 [子ども子育て支援課]			
18	低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金	予算 決算	0 99,303	食費等の物価高騰に直面し、家計への影響を特に受ける児童扶養手当受給者及び令和4年度低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金受給者等に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行った(所得要件あり)。 ・ひとり親世帯分 支給金額 34,200,000円、 対象世帯数 496世帯、対象児童数 684人 ・ひとり親以外の子育て世帯分 支給金額 59,000,000円、 対象世帯数 738世帯、対象児童数 1,180人  物価高騰による家計への影響が特に大きい低所得の子育て世帯の負担軽減に寄与した。
	《民生費〇子育て世帯生活支援特別給付金事業》 [子ども子育て支援課]			

19	ひとり親家庭等医療費助成事業  《民生費〇ひとり親家庭等医療費助成事業》 [子ども子育て支援課]	予算 決算	27,198 26,158	ひとり親家庭等に対し、医療保険診療自己負担分（課税世帯は一部）を助成した（所得制限あり）。 ・医療費助成額 25,420,382円、受給世帯数 438世帯、受給対象者数 448人、助成件数 8,969件  ひとり親家庭等の経済的な負担軽減を図り、必要な医療を安心して受けられる環境整備に寄与した。
20	保育の質向上の取組み  《民生費〇一般管理経費》 [子ども育成課]	予算 決算	9,619 9,393	保育従事者を対象とした研修や、保育総合アドバイザー、保育相談員等による巡回指導、助言、相談対応等を実施した。 ・保育総合アドバイザー 延相談件数74件 ・保育相談員による巡回指導 延巡回回数185件  市内保育施設における不適切な保育の防止及び保育の質のさらなる向上に資した。
21	保育施設における使用済み紙おむつの回収  《民生費〇一般管理経費》 [子ども育成課]	予算 決算	22,546 22,546	市内の保育施設（認可保育所、認定こども園、地域型保育事業、認証保育所及び企業主導型保育事業）の園児の使用済み紙おむつの回収・処分事業を実施した。 ・使用済み紙おむつ回収施設 69施設（認可保育所、認定こども園、地域型保育事業、認証保育所及び企業主導型保育事業）  保育施設内での衛生面の向上及び子育て世帯の負担軽減に寄与した。
22	認可外保育施設入所児童保育助成事業  《民生費〇認可外保育施設助成事業》 [子ども育成課]	予算 決算	101,796 90,854	東京都認証保育所又は企業主導型保育事業に入所する児童の保護者に対して、認可保育所の保育料との差額（所得階層に応じた上限あり）を助成した。  子育て家庭の経済的な負担軽減を推進した。
23	企業主導型保育事業に対する支援  《民生費〇認可外保育施設助成事業》 [子ども育成課]	予算 決算	32,345 27,044	市民の受入れを行う企業主導型保育事業者に対し、保育人材確保に向けた取組みとして、東京都の制度であるキャリアアップ補助事業などを活用して補助を実施した。 ・保育士等キャリアアップ補助金交付施設 8施設（企業主導型保育事業のみ）  市民が安心して利用できる保育施設の確保に寄与した。
24	市立保育園における医療的ケア児受入体制の整備  《民生費〇市立保育園運営事業》 [子ども育成課]	予算 決算	16,162 3,444	市立保育園において、医療的ケアが必要な児童の保育に必要な環境と体制の整備を進めた。医療的ケア児に関する相談窓口である医療的ケア児コーディネーターとも連携し、児童1人を受け入れた。  武蔵野赤十字病院と医療的ケア児の緊急的な受入れに関する協定を締結するとともに、児童に訪問看護による医療的ケアを実施し、児童の安全に配慮した保育を推進した。
25	あそべえ事業  《民生費〇あそべえ事業》 [児童青少年課]	予算 決算	207,909 201,863	学童クラブとともに、両事業を統括する館長を中心とした見守り体制により、学校施設を利用した居場所・遊び場を提供した。  全学年の児童にとって安全かつ安心な居場所を提供することで、児童の健全育成に寄与した。
26	学童クラブ事業  《民生費〇学童クラブ事業》 [児童青少年課]	予算 決算	770,848 772,424	学童クラブ入会者の増加に対応するため、二小こどもクラブ、四小こどもクラブ、境南こどもクラブ及び関前南こどもクラブで支援の単位の増設を行った。  学童クラブ入会者が安全かつ健全に放課後等を過ごすことができるよう様々な取組みを進め、就労等のため放課後に保護者の監護を受けられない児童の健全育成に貢献した。
27	民間学童クラブの開設支援  《民生費〇学童クラブ事業》 [児童青少年課]	予算 決算	60,823 0	就労等により子どもの学童利用を希望する保護者が増加しており、小学校内での育成スペースの確保が難しくなっていることや、保護者の就労の多様化に対応するため、民間事業者による学童クラブの市内での開設を支援する事業である。令和4年度中に開設支援を行った民間学童クラブの入会状況等により、令和5年度は新たな開設支援を行わなかった。

28	学童クラブにおける第三者評価の実施  《民生費〇学童クラブ事業》 〔児童青少年課〕	予算 決算	3,474 1,320	二小こどもクラブ、井之頭こどもクラブ及び関前南こどもクラブで第三者評価を実施した。令和4年度に実施した2クラブと合わせて、12クラブ中5クラブの第三者評価がなされた。  国から示されたガイドラインに沿って学童クラブの第三者評価を実施することで、質を確保する一助となった。
29	児童館の管理運営  《民生費〇児童館の管理運営》 〔児童青少年課〕	予算 決算	22,734 17,206	子どもたちの健全育成を目的として、乳幼児と保護者、小中学生を対象に健全な遊びと居場所を提供した。地域子育て支援拠点事業に加えて、利用者支援事業を行った。 ・事業回数 230回、参加者 延5,337人 ・一般参加者 延35,261人、総計 40,598人 事業回数は令和4年度より25回減少したが、来館者数はそれぞれ参加者48人増、一般参加者4,940人増、総計4,988人増になった。  子育て家庭への支援強化のため、関係機関や地域の子育て支援団体との連携を推進した。
30	多様な保育ニーズへの対応  《民生費〇認可外保育施設助成事業、〇保育所等運営委託・給付事業》 〔子ども育成課〕	予算 決算	49,123 92,810	保護者の短時間・定曜日勤務等の就労形態への対応、レスパイト等、保育ニーズが多様化する中で、認可保育施設の空きを活用する余裕活用型一時預かり事業（13施設）、定期利用保育事業（1施設）及びベビーシッター利用支援事業を実施した。 ・余裕活用型一時預かり事業 延利用者数137人 ・定期利用保育事業 延利用者数1,511人 ・ベビーシッター利用支援事業 延利用者数3,301人  多様化する保育ニーズに対応し、保護者の利便性の向上及び充実のための一助となった。

### 基本施策3 子どもと子育て家庭を地域社会全体で応援する施策の充実

31	青少年問題協議会・地区活動事業  《総務費〇青少年問題協議会・地区活動事業》 〔児童青少年課〕	予算 決算	11,402 11,632	青少年に対する本市の総合的施策の実施を推進し、青少年の健全育成を図るため、青少年問題協議会定例会の開催、地区委員会（12地区）活動に対する補助等を行った。  各地区委員会で実施するそれぞれの事業に要する経費を補助し、より活発な地域活動の遂行に資することができた。
32	保育士等人材の確保及び定着に向けた取組みへの支援  《民生費〇認可外保育施設助成事業、〇保育所等運営委託・給付事業》 〔子ども育成課〕	予算 決算	689,389 692,256	キャリアアップ補助金や期末報償金補助金による保育士等の処遇改善、職員用の宿舍の借上げや保育補助者の雇上げに対する補助等を実施した。 ・保育士等キャリアアップ補助金交付施設 53施設（認可保育所、地域型保育事業、認証保育所及び病児・病後児保育事業）  保育施設における保育人材の確保、定着等に向けた補助を行うことで、保育士等の業務に対する意欲を向上させ、保育サービスの質の向上に寄与した。
33	子どもを守る家関連推進事業  《総務費〇子どもを守る家関連推進事業》 〔児童青少年課〕	予算 決算	1,745 1,084	子どもを守る家等の取組みを推進し、地域での一体的な見守りを行った。また、子ども自らが犯罪、嫌がらせ等から身を守る能力を高めるため、CAP（子どもへの暴力防止）プログラムを実施した。 ・登録件数：子どもを守る家1,848件、みんなで子どもを守ろう自転車防犯帯3,663件（令和5年10月1日現在） ・CAPプログラムのワークショップ実施地区 実施青少協地区委員会数：5地区  地域防犯力と犯罪抑止を高め、子どもの安全の向上に貢献した。

### 基本施策4 子どもの「生きる力」を育む

34	市立自然の村の管理運営  《総務費〇市立自然の村の管理運営》 〔児童青少年課〕	予算 決算	57,404 50,895	施設の管理運営などを指定管理者へ委託するとともに、危険木の伐採や多目的広場アプローチ階段撤去工事、施設の保守、修繕などを行った。 ・宿泊利用者数 4,114人  豊かな自然環境の中で、多くの市民等が野外活動を行い自然に親しむことができるように安全で利用しやすい環境を整備した。
----	--	----------	------------------	---

35	むさしのジャンボリー事業  《総務費○むさしのジャンボリー事業》 [児童青少年課]	予算 決算	32,726 16,223	<p>青少年の健全育成を目的に青少年問題協議会地区委員会との共催事業として、市立自然の村において小学校4年生から6年生までを対象に2泊3日のキャンプを実施した。</p> <p>なお、当初予算では新型コロナウイルス感染症対策費用を見込んでいたが、実施段階での影響は少なかったため、予算額と決算額との乖離が生じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者：児童570人、サブリーダー145人、指導者278人 合計993人</li> </ul> <p>地域の大人や中高生がリーダーとなり、野外活動を通じて地域の子どもたちと異世代交流等を図り、青少年の健全育成活動に寄与した。</p>
36	青少年活動育成事業  《総務費○青少年活動育成事業》 [児童青少年課]	予算 決算	44,051 41,049	<p>青少年の健全育成、青少年団体の活動支援、地域の活性化等を目的としてさまざまな事業を実施した。</p> <p>○青少年の育成・・・むさしのジャンボリーのサブリーダーをはじめとするさまざまな体験活動を行い、地域の大人たちとの交流の中で青少年を育成することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中高生リーダーへの登録者258人（うち新規登録者115人）</li> </ul> <p>○青少年善行表彰・・・青少年の善行表彰式典を開催し、青少年の健やかなる成長に資することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子鳩・けやき表彰対象件数：15人2グループ</li> </ul> <p>○遠野市家族ふれあい自然体験事業及び親子稲作（長岡市小国町）・・・友好都市を訪問し、地元民との交流や豊かな自然の中での体験を満喫し、家族の絆を深めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遠野市家族ふれあい自然体験事業：13家族42人</li> <li>親子稲作（田植え・稲刈り）体験：10家族32人</li> </ul> <p>○青少年関係団体への補助・・・青少年関係団体への補助金を支出し、青少年の健全育成活動に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バス借上げ：20団体、講師謝礼補助2団体</li> </ul> <p>○プレーパークの運営・・・子どもの感性や生きる力を磨くこと、そして子どもを通じた地域コミュニティの活性化を促すことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プレーパーク：開催日数延253日、来場者数延13,172人</li> </ul> <p>○若者サポート事業及び子ども若者居場所支援事業・・・生きにくさを感じている青少年のための居場所づくりや相談事業を実施し、青少年の自立促進に資する活動を行い、社会参加等へと導くことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>若者サポートみらいる事業：開所数247回 延934人</li> <li>子ども・若者支援事業：居場所事業 204回（関係づくり事業を除く。）、延338人</li> </ul>
37	幼保小の連携推進  《民生費○一般管理経費》 [子ども育成課、指導課]	予算 決算	1,000 1,000	<p>幼児教育から小学校教育への接続をより円滑にする縦の連携及び幼稚園と保育施設との相互理解を深める横の連携を推進し、生きる力を育む幼児教育を実践していくため、幼児期の特別支援に関する研修会を実施した。</p> <p>幼児期の特別支援について、幼稚園、保育所及び地域の保護者の相互理解を深め、連携の推進に寄与した。</p>
38	学習者用コンピュータ活用の推進  《教育費○情報教育指導》 [指導課]	予算 決算	118,911 135,936	<p>令和2年度に整備した学習者用コンピュータを使用して、引き続き効果的な活用のために必要な知見を蓄積するとともに、学習者用コンピュータ活用検討委員会において、デジタル・シティズンシップ教育の計画等について研究した。</p> <p>学校で行われる授業については発達段階に合わせた活用計画やデジタル・シティズンシップ教育の考え方を検討し、各教員工夫のもとで学習者用コンピュータを活用したさまざまな授業実践が行われた。</p> <p>これらを踏まえて、「学習者用コンピュータ活用指針」として取りまとめ、令和6年3月に作成・公表したことで、今後の活用方針、学校、家庭、地域及び教育委員会の役割等を明確にした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習者用コンピュータ活用検討委員会開催回数：6回</li> </ul> <p>学習者用コンピュータを適切に活用した学習活動の充実により、児童生徒の情報活用能力の向上に寄与した。</p>

39	I C T機器（電子黒板機能付き大型提示装置等）の追加整備	予算 決算	10,855 3,865	I C T機器を追加整備し、既存機器の老朽化及び学級増への対応を行った。 ・大型提示装置設置台数：151台  電子黒板機能付き大型ディスプレイの導入により、学びの充実を図るとともに、教員用端末との無線接続等の授業環境改善をもたらした。
	《教育費○情報教育指導》 [指導課]			
40	セカンドスクール・プレセカンドスクール	予算 決算	173,920 162,219	令和2年度に行われた武蔵野市長期宿泊体験活動検討委員会の報告を踏まえ、活動のねらいを一層明確にした長期宿泊での自然体験や農業体験を通し、豊かな感性や自主性、協調性等を育む教育活動を実施した。 ・小学校セカンドスクール：12回（長野県飯山市、新潟県魚沼市・南魚沼市及び富山県南砺市） ・中学校セカンドスクール：6回（群馬県みなかみ町、長野県安曇野市・白馬村及び新潟県十日町市） ・小学校プレセカンドスクール：12回（東京都奥多摩町、山梨県富士河口湖町・山中湖村、静岡県島田市及び新潟県南魚沼市）  児童生徒が主体的に学習に取り組む態度や、課題解決に向けて自ら考え、判断し、行動する態度が育成された。
	《教育費○セカンドスクール》 [指導課]			
41	不登校対策と教育相談の総合的推進	予算 決算	166,379 158,752	家庭と子どもの支援員（常駐型）の配置校を5校増やして8校とし、不登校傾向の児童生徒に対する支援を拡充した。また、教育相談員とスクールソーシャルワーカーが教育相談や不登校の増加に対応して相談支援を行い、不登校の子どもや困りごとを抱える家庭を多面的に支援した。  校内支援体制を強化するとともに多面的な支援を行うことで不登校対策と教育相談を推進した。
	《教育費○教育相談事業》 [教育支援課]			
42	特別支援教育の推進	予算 決算	168,503 126,795	障害種別ごとの特別支援学級及び全小中学校における特別支援教室を着実に運営した。また、就学相談や特別支援教育に関して、就学相談の説明動画を市ホームページに掲載し、情報発信を行った。  医療的ケア児等、障害や特性に応じた教育を受けられるような環境整備に寄与した。
	《教育費○知的障害学級運営、○難聴・言語障害学級運営、○肢体不自由学級運営、○院内病弱学級運営、○情緒障害学級運営》 [教育支援課]			

#### 基本施策5 教育環境の充実と学校施設の整備

43	第四期学校教育計画の策定	予算 決算	2,718 1,890	第四期学校教育計画（令和7年度から令和11年度まで）の策定に向け、5回の審議会を開催した。また、子どもの学習・生活に関する調査（子ども、保護者及び教員）を実施し、結果をまとめた。  審議会では、本市の教育の現状と課題及び目指すべき方向性（教育理念及び施策の方向性）について、議論を重ねた。
	《教育費○一般管理経費》 [教育企画課]			
44	学校改築事業	予算 決算	3,361,057 1,739,903	第一中学校は令和8年1月、第五中学校は令和7年3月から新校舎使用を目指し、既存校舎の解体工事完了後、建設工事に着手した。第五小学校及び井之頭小学校の基本設計では、新しい時代の学びを実現できる教育環境について、地域住民、保護者、教職員、児童等のさまざまな関係者と議論を重ねた。
	《教育費○一般管理経費、○小学校改築事業、○中学校改築事業》 [教育企画課]			
45	関前南小学校増築事業	予算 決算	172,750 269,390	学級編制の標準の引下げにより、教室数が不足することが見込まれる関前南小学校において、校舎の増築工事を実施した。 なお、決算額は前年度からの繰越明許費を含んでいる。  増築工事により普通教室の数を増やしたことで、小学校35人学級の導入に遅滞なく対応できた。
	《教育費○校舎等施設維持管理》 [教育企画課]			
46	学校体育館照明LED化工事	予算 決算	36,161 19,283	境南小学校及び第四中学校の体育館において照明設備の更新工事を実施した。  照明設備を水銀灯からLEDに更新したことにより、体育館の使用に十分な照度を確保するとともに、今後のランニングコストの低減やCO <sub>2</sub> 削減に資した。
	《教育費○校舎等施設維持管理》 [教育企画課]			

47	学校図書館の機能の充実  《教育費○児童生徒指導》 [指導課]	予算 決算	33,752 32,698	児童生徒が授業中を含めさらに自由に学校図書館を活用できるように、学校図書館サポーターの勤務時間等を拡充した。併せて「学校司書」と名称を変更した。  開館時間を延長したことで、児童生徒が放課後に安心して過ごせる居場所や自主学習の場として活用された。また、学校司書と教員との連絡調整の時間が確保され、調べ学習等各教科の授業における探究活動の場として、一層の深い学びに貢献した。
48	教育の質の向上と教員の働き方改革の推進 (市講師及び学習指導補助員の配置と学習支援教室の実施)  《教育費○児童生徒指導》 [指導課]	予算 決算	95,901 75,336	一部教科の授業を担当に代わって担当する本市独自の市講師の配置を拡充し、小学校高学年における教科担任制を推進することで、教員の働き方改革を進めた。また、放課後等に学習支援教室を実施したほか、学習指導補助員を配置した。 全小・中学校合計で、市講師18,187時間、学習支援教室指導員2,004時間、学習指導補助員7,672時間の配置を行った。 特に小学校では各校の実態に応じて、国語、算数、社会、理科、外国語のほか、低学年・中学年における音楽、図工等の教科において、市講師が教員に代わって授業を実施した。  市講師を配置し、教材研究等に時間をかけることにより授業の質の向上が図られるとともに、学習支援教室の実施や学習指導補助員の配置により児童生徒の個に応じた指導に寄与した。
49	中学校部活動指導員の配置  《教育費○児童生徒指導》 [指導課]	予算 決算	17,316 9,807	各種目の専門性を活かした技術指導や大会の引率等を行う部活動指導員を各校1人から2人に増員し、全中学校で延17人の部活動指導員を配置し、教員に代わって専門的な技術指導、大会引率等を行った。全中学校合計で教員の部活動指導時間を3,540時間軽減し、軽減された時間で、授業準備、教材研究等を実施した。  より効率的・効果的な部活動を推進し、教員の多忙化の解消や働き方改革、持続可能な部活動の体制構築に寄与した。
50	学校・家庭・地域の協働体制の充実  《教育費○児童生徒指導、○教育推進室の運営》 [指導課]	予算 決算	7,435 5,557	「開かれた学校づくり協議会」において学校運営協議会機能を活用し、地域学校協働本部機能と一体的に推進するため、令和5年度から2年間、境南小学校と第一中学校をモデル校として指定した。  モデル校では、委員数を12人以内まで増やし、年8回の協議会を開催した。熟議を通してともに子どもを育てる意識の共有が図られ、全小中学校における実施に向け、成果と課題を整理することができた。

### (3) 平和・文化・市民生活

#### 基本施策1 多様性を認め合い尊重し合う平和な社会の構築

1	平和・憲法啓発事業  《総務費○平和・憲法啓発事業》 [市民活動推進課]	予算 決算	4,739 3,974	実行委員会との協働により、5月に憲法月間記念行事、8月に夏季平和事業、11月に平和の日イベントを実施した。「武蔵野から伝える戦争体験記録集第IV集」と平和啓発用映像を作成した。また、「武蔵野市平和施策のあり方懇談会」を設置し、市民や有識者から意見を伺い、報告書としてまとめた。  イベント等では延501人の参加があり、市民協働で戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に伝えていくための事業を進めた。
2	男女平等推進施策事業  《総務費○男女平等推進施策事業》 [市民活動推進課]	予算 決算	24,533 19,539	武蔵野市男女平等の推進に関する条例に基づき、研修・啓発、情報収集・提供、団体支援、相談事業その他、パートナーシップ制度の推進及び次期武蔵野市男女平等推進計画の策定を行った。  男女平等社会の実現に向けて、男女平等の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進した。

3	多文化共生推進事業  《総務費○一般管理経費》 [多文化共生・交流課]	予算 決算	2,750 442	武蔵野市多文化共生推進プランを英語に翻訳し、市ホームページにて公開した。 多文化共生についての市民理解を広げるため、リーフレット「多文化共生ってなに？」を作成し、市内のイベントで配布するとともに市ホームページにて公開した。 (リーフレット配布実績) 3月9日：外国人による日本語スピーチ大会 (MIA主催) 3月31日：武蔵野桜まつり  日本人と外国人がともに理解し、尊重し合い、活躍できる環境整備に寄与した。
4	窓口業務での通訳及び 翻訳サービスの本格導入  《総務費○一般管理経費》 [多文化共生・交流課]	予算 決算	986 954	タブレット端末を用いたオンライン通訳サービスと翻訳サービスを本格導入した。 (通訳サービス) 利用実績：9言語135件 (延2,851分) (翻訳サービス) 利用実績：4言語5件  外国人市民等が市役所窓口でコミュニケーションをとる際の言語障壁を取り除くことができた。
5	国際交流協会事業  《総務費○国際交流協会事業》 [多文化共生・交流課]	予算 決算	74,500 70,160	外国人市民の生活やコミュニケーション支援を行う (公財) 武蔵野市国際交流協会に対して運営費補助金を交付した。 (主な実施イベント) 多文化体験ウィーク：11月9日～12日、延512人 外国人による日本語スピーチ大会：3月9日、104人 (多言語相談・情報提供窓口) 相談件数：4言語317件  多文化共生の社会づくりに向けた取組みの推進を支援した。

## 基本施策2 災害への備えの拡充

6	ペットの災害対策  《衛生費○狂犬病予防・動物愛護等 啓発事業》 [環境政策課、防災課]	予算 決算	963 688	災害時に自宅での生活が継続できず、やむなくペットと同行避難する場合は想定した「武蔵野市ペット同行避難マニュアル」及び「災害時動物救護等活動マニュアル」を作成した。これらを踏まえた市民周知用のパンフレット「武蔵野市ペットのための防災対策」を作成し、動物病院等で配架を行った。さらに令和4年度に引き続き、市内避難所14か所にペット用ケージ (各L1台・M2台) の備蓄を行った。  災害時にペットと同行避難する際の飼い主等の役割や日頃からの取組等を整理し、ペットのための防災対策について啓発を行った。
7	特定緊急輸送道路沿道建築物 耐震化促進事業  《土木費○住宅対策事業》 [住宅対策課]	予算 決算	106,336 12,309	特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を促進するため、耐震化に要する費用の一部を助成した。  補強設計1件の助成を行い、特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を促進した。
8	民間住宅耐震化促進事業 (耐震アドバイザー・耐震化助成)  《土木費○住宅対策事業》 [住宅対策課]	予算 決算	189,381 22,539	災害に強いまちづくりを推進するため、専門家の派遣や耐震化に要する費用の一部助成により住宅の耐震化を支援した。 (耐震アドバイザー派遣事業) 相談・見積り等10件、簡易診断25件、安心パック7件 (民間住宅耐震化助成) 耐震診断6件、補強設計1件、耐震改修・建替え・除却27件  耐震化率95%の目標達成に向けて、耐震化を促進した。
9	消防団員の報酬改定  《消防費○一般管理経費》 [防災課]	予算 決算	13,100 10,689	消防庁長官通知に基づき、条例改正を行い、消防団員の出勤報酬において、大規模災害出勤手当1日8,000円を新設した。また、訓練・警戒活動に対する出勤報酬を1回2,500円から3,000円に引き上げた。  消防団員の報酬改定を行い、消防団員の処遇を改善した。

10	消防団第2分団詰所の改築	予算 決算	12,722 2,084	第2期武蔵野市公共施設等総合管理計画及び武蔵野市消防団詰所整備計画に基づき、消防団第2分団詰所解体における石綿定性分析調査委託及び消防団第2分団詰所改築に伴う構造等設計業務委託を実施した。 仮詰所賃貸借は2回の入札不調を経て、改めて仮詰所の用地選定から行うこととなった。  老朽化した消防団詰所の建替を計画的に進めることで、吉祥寺地区の防災力の維持・向上に寄与した。
	《消防費○消防施設維持管理》 [防災課]			
11	消火栓の計画的改修	予算 決算	36,000 35,153	消防水利を整備するために、15か所の老朽消火栓の改修工事を実施した。  計画的に既設消火栓を点検及び更新し、市民の安全・安心の向上に寄与した。
	《消防費○防火水槽・消火栓維持管理》 [防災課]			
12	学校避難所井戸における非常用浄水器の設置	予算 決算	0 22,587	発災時において、避難所で安全かつ容易に避難者へ飲料水を提供するため、市立小中学校18か所にある災害時井戸（学校避難所井戸）に非常用浄水器を設置した。  発災時において、学校避難所で避難者に対し、より安全・安心な飲料水を提供できるようになった。
	《消防費○防災施設整備事業》 [防災課]			

### 基本施策3 安全・安心なまちづくり

13	環境浄化対策事業	予算 決算	2,061 1,984	関係機関・団体と連携したパトロールや吉祥寺駅周辺の防犯カメラの運用を行うとともに、旅館業者に対して条例で定める責務等を遵守するよう求めた。  環境浄化の取組みを推進し、良好な環境の確保に貢献した。
	《総務費○環境浄化対策事業》 [安全対策課]			
14	生活安全対策事業	予算 決算	134,283 135,924	市民安全パトロール隊、ホワイトイーグル等によるパトロールの実施、商店会等に対する防犯カメラの設置・管理支援、特殊詐欺被害防止対策等を行った。令和5年4月にブルーキャップの活動時間の延長と吉祥寺ミッドナイトパトロール隊による勧誘行為等へ指導を開始し、同年12月には勧誘行為等適正化特定地区の拡張を行った。  客引き行為等に対する取組みを強化し、安全・安心を実感できるまちづくりを推進した。
	《総務費○生活安全対策事業》 [安全対策課]			
15	危機管理対策事業	予算 決算	10,875 930	新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援センターの運営を国及び東京都の動向を踏まえつつ行った。令和5年5月8日、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けの5類感染症への移行に伴い、同月7日に新型コロナウイルス感染症対策本部を廃止し、同センターを終了した。  事件など身近に起こり得る危機や、ミサイル発射などのさまざまな脅威に備えるため、危機管理対策訓練を行い、市民の安全・安心の確保に貢献した。
	《総務費○危機管理対策事業》 [安全対策課]			
16	消費生活センターの管理運営	予算 決算	20,691 19,133	高齢者や若者の消費者被害を防ぐため、市内の高齢者団体や市立中学校3年生に向けて出前講座を行った。また、市内を走行するバス車内のデジタルサイネージで啓発動画を放映した。その他啓発の講座等を実施した。 ・消費生活相談：1,236件 ・消費生活講座等：17回、受講者延703人 ・消費生活展：令和5年10月6日～10月7日、武蔵野プレイスで展示、展示内容発表、体験教室及び公開講座（プレイス来場者数118人）二次展示（令和6年1月30日～2月2日）  消費生活相談は令和4年度に比べて微増した。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、消費生活講座及び夏休み親子教室で試食を伴う講座も実施した。  市民の暮らしに役立つ情報提供等を通じて、消費生活の安定と向上を推進した。
	《商工費○消費生活センターの運営事業》 [産業振興課]			

#### 基本施策 4 地域社会と市民活動の活性化

17	個人情報保護法の改正に伴う 制度見直しへの対応	予算 決算	3,385 3,300	令和5年9月に個人情報ファイル簿を公表し、令和6年3月に各課に調査のうえ個人情報事務ファイル簿を作成した。また、個人情報保護法上の安全管理措置にあたるものとして武蔵野市個人情報管理規程を制定するとともに、財政援助出資団体における個人データの取扱いに関するモデル規程を作成した。  改正後の個人情報保護法及び武蔵野市個人情報の保護に関する条例に基づく必要な対応を行い、引き続き個人情報の適正な管理と運用を図った。
	《総務費○個人情報保護》 [市民活動推進課]			
18	コミュニティセンターの管理運営及びコミュニティ活動の推進	予算 決算	479,638 403,696	市民による活発なコミュニティづくりのため、16のコミュニティ協議会によるコミュニティセンターの管理運営及びコミュニティ活動への支援を行った。また、施設の適切な維持修繕を行いつつ、令和6年度に実施する緑町コミュニティセンター及び西部コミュニティセンターの大規模改修のための実施設計を行った。  各コミュニティ協議会によって適切なコミュニティセンターの管理と活発なコミュニティ活動が行われ、地域のコミュニティづくりに寄与した。
	《総務費○コミュニティセンターの管理運営・コミュニティ活動》 [市民活動推進課]			
19	中央コミュニティセンター バリアフリー化の検討	予算 決算	5,926 3,470	中央コミュニティセンターのバリアフリー化等のため、令和6年度に行う実施設計のための調査、耐震診断及び基本設計を行った。
	《総務費○コミュニティセンターの管理運営・コミュニティ活動》 [市民活動推進課]			
20	市民活動促進基本計画の推進	予算 決算	3,022 2,698	市民活動促進基本計画に基づき、庁内連絡調整会議を設置し各課の連携を図ったほか、協働に関する職員研修や補助金による市民活動団体への財政的支援を行った。  庁内連絡調整会議の議論を踏まえ、市民活動団体向け補助金リーフレットを作成したほか、クラウドファンディング補助金は1団体、NPO補助金は12団体に交付を行い、地域における公益的な活動の促進と活性化に寄与した。
	《総務費○市民活動促進》 [市民活動推進課]			

#### 基本施策 5 豊かで多様な文化の醸成

21	武蔵野公会堂改修等 基本設計関連事業	予算 決算	28,102 23,140	老朽化した設備の更新やバリアフリー化とともに文化施設としての機能向上を図る目的で策定した改修等基本計画に基づき、設計者を公募型プロポーザルで選定し、基本設計に着手した。
	《総務費○公会堂の管理運営》 [市民活動推進課]			
22	武蔵野アール・ブリュット2023 の開催	予算 決算	3,600 2,947	市民で構成された実行委員会との協働により、吉祥寺美術館を会場としてアールブリュット展を行った。  「ささやかなゆらぎを感じることを大事にしたい」という思いから「+0.5(プラスれいてんご)」をテーマに据え、体験型の展示や多彩なワークショップ等を展開し、アートを通じた多様性を大切にする地域づくりを進めた。
	《総務費○吉祥寺美術館の管理運営》 [市民活動推進課]			
23	アメリカ・ラボック市との相互 交流事業	予算 決算	4,067 2,895	アメリカ合衆国テキサス州ラボック市の中高生16人・引率者5人を受け入れ、市役所表敬訪問、都内見学、第五中学校での交流会、市内見学やホームステイを行った。 期間：6月6日～12日  ホームステイでは同年代の青少年がいる家族がホストファミリーとなったことで、青少年及び家族の多様な文化への理解が深まり、広い視野を持つ次世代の育成に寄与した。
	《総務費○アメリカ・ラボック市との相互交流事業》 [多文化共生・交流課]			

24	韓国との相互交流事業  《総務費○韓国との相互交流事業》 [多文化共生・交流課]	予算 決算	3,606 2,368	○忠州市への派遣 中高生12人、引率者3人を派遣した。期間中、韓国文化体験のほか、ホームステイを2泊実施するなど現地の青少年との交流を図った。 期間：7月27日～31日  ○ソウル特別市江東区からの受入れ 中高生12人、引率者4人が来訪し、都内見学、ホームステイなどを通じて交流を図った。 期間：8月24日～28日  派遣、受入れのそれぞれにおいて参加した青少年及び家族の多様な文化への理解が深まり、広い視野を持つ次世代の育成に寄与した。
25	ルーマニア・ブラショフ市との相互交流事業  《総務費○ルーマニア・ブラショフ市との相互交流事業》 [多文化共生・交流課]	予算 決算	4,765 502	ブラショフ市へ青少年交流団を派遣し、友好親善と相互理解を深める予定だったが、安全上の懸念により事業を中止した。代替として、本市及び近隣市在住・在学の高校生及び大学生6人とブラショフ市の高校生及び大学生10人によるオンライン交流を実施した。 実施日：令和6年3月16日  学校生活の違いや趣味等について会話が弾んだことで、多様な文化への理解が深まり、広い視野を持つ次世代の育成に寄与した。
26	ロシア・ハバロフスク市との相互交流事業  《総務費○ロシア・ハバロフスク市との相互交流事業》 [多文化共生・交流課]	予算 決算	430 0	これまで青少年交流団の相互派遣により培ってきたロシア連邦ハバロフスク市との都市間交流について、実施困難な状況が続いているため、交流事業を見合わせた。
27	友好都市交流事業  《総務費○友好都市交流事業》 [多文化共生・交流課]	予算 決算	3,902 2,411	安曇野市、南房総市及び大崎上島町への市民交流ツアーや友好都市宿泊施設の利用助成を行い、市民レベルでの交流を促進した。 (市民交流ツアー) 安曇野市：2月3日～4日、親子5組10人 南房総市：1月20日～21日、16人 大崎上島町：1月26日～28日、11人 (友好都市宿泊施設利用助成) 延泊数：257泊 (南房総市夏季期間中の民宿利用助成) 延泊数：24泊  各種事業により友好都市を訪れる機会を提供したことで、市民の友好都市に対する理解が深まり、市民と友好都市の住民との友好親善が図られた。
28	友好都市アンテナショップ運営事業  《商工費○友好都市アンテナショップ運営事業》 [産業振興課]	予算 決算	6,422 5,837	友好都市の物産品販売、観光情報発信等を行うアンテナショップの運営を通して、市民等が友好都市との交流ができる場づくりを行った。  来店者が友好都市の商品やリーフレットに触れることができる親善拠点としての役割を果たしたほか、多摩東京移管130周年イベント、南房総市産業まつりなどの市外の催事に出店し、本市と友好都市のPRを実施した。また、能登地震への支援として、南砺市と連携して、被災地応援特別フェアを実施するなど、都市間の交流と人々との友好を深め、豊かな市民生活と活力ある商業活動を推進した。
29	まちの魅力発信と観光推進  《商工費○観光振興事業》 [産業振興課]	予算 決算	75,933 74,397	インバウンド回復、マイクロツーリズムなどの新しい観光様式の浸透を見据え、観光機構等と連携し、多言語マップ等による情報発信、集客イベントへの補助、近隣自治体との広域連携、市内コンテンツ事業者との協働事業などに取り組んだ。  都市観光推進のため、各種事業を通して、まちの魅力の発掘や磨き上げを推進した。 ・観光ガイド、エリアマップの改訂（日本語版・英語版） ・大学生が見つけたまちあるき手帖（杉並区との広域連携） ・観光用デザインマンホール事業（吉祥寺駅北口に7か所設置）など

基本施策6 多様な学びや運動・スポーツ活動の推進

30	むさしのサイエンスフェスタの開催  《教育費○学級・講座開催事業》 [生涯学習スポーツ課]	予算 決算	3, 173 2, 763	小中学校の教員、地域団体、企業及び大学等によって構成される実行委員会形式により、科学に関する26のブースを設置し、小中学生が実験等の体験学習を行うイベントを開催した。 ・開催日：11月3日 ・来場者：1,863人  小中学生が科学への興味を深めることができる機会を提供した。また、土曜学校サイエンスクラブの参加児童が学びの成果を市民に還元する「学びおくりあう」機会としての役割を果たした。
31	文化財保護普及事業  《教育費○文化財保護普及事業》 [生涯学習スポーツ課]	予算 決算	23, 192 21, 219	文化財の保存及び活用を図るため、文化財保護委員会議の開催、埋蔵文化財包蔵地の調査、市指定文化財に対する補助金交付等を行った。文化財の普及啓発を図るため、各種講座を開催した。埋蔵文化財・民俗資料・古文書等の調査、研究等を行い、文化財講座等普及活動や武蔵野ふるさと歴史館における展示を実施した。また、文化財の指定・登録や、補修・利活用等にも取り組んだ。  市内に存在する文化財について、その保存及び活用等を行い、市民の郷土に対する認識を高めるとともに市民文化の向上に貢献した。
32	武蔵野ふるさと歴史館の管理運営  《教育費○武蔵野ふるさと歴史館の管理運営》 [生涯学習スポーツ課]	予算 決算	61, 602 55, 710	武蔵野ふるさと歴史館第3期管理運営基本方針に基づき運営を行った。企画展示（年4回）及び関連事業等を実施した。学校教育と連携し、市立小学校の見学受入れ等を実施した。歴史公文書の選別、移管、保存等を実施した。 ・令和5年度来館者数 41,308人  歴史公文書の整備、公開等に努めるとともに、考古学、民俗学及び歴史学の視点に立った博物館機能を持った複合施設としての役割を担う専門的研究と生涯学習を推進し、広く教育、学術及び文化の発展に寄与した。
33	土曜学校事業  《教育費○土曜学校事業》 [生涯学習スポーツ課]	予算 決算	1, 856 1, 446	市内在住又は在学の小中学生を対象とし、さまざまな体験型の講座を開催した。また、事業の一部を（公財）武蔵野文化生涯学習事業団に委託して実施した。  現代の子どもたちの「生きる力」を育み、生涯学習のきっかけづくりの場を提供した。
34	ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイスの管理運営  《教育費○一般管理経費》 [生涯学習スポーツ課]	予算 決算	581, 870 539, 991	図書館、生涯学習活動支援、市民活動支援及び青少年活動支援に関する事業並びに複数機能の相互連携事業を実施するとともに、施設の管理運営を行う（公財）武蔵野文化生涯学習事業団の各事業等との連携を推進した。 ・令和5年度来館者数 1,580,393人 乳幼児から高齢者まで各世代向けの講座及び4機能連携事業であるプレイス・フェスタを開催し、多くの参加があった。  市民の多様な活動及び学習の場を創出し、市民文化の振興を促進した。
35	総合体育館大規模改修工事基本計画の策定  《教育費○体育施設一般管理経費》 [生涯学習スポーツ課]	予算 決算	17, 192 16, 074	総合体育館の長寿命化を図るための保全と機能改善等の大規模改修に向けて、武蔵野総合体育館大規模改修保全整備基本計画を策定した。  保全改修工事における基本方針を示すとともに、設計における与条件を整理した。
36	陸上競技場第三種公認検定のための改修工事等  《教育費○体育施設一般管理経費》 [生涯学習スポーツ課]	予算 決算	112, 424 88, 422	5年ごとに更新が必要な陸上競技場の第三種公認検定を受けるための改修工事と備品の更新を実施した。  公認を継続することにより、質の高いスポーツ施設の利用を引き続き提供することが可能となった。
37	中央図書館地下書庫 電動書架リニューアル工事  《教育費○一般管理経費》 [図書館]	予算 決算	21, 993 18, 293	図書館資料の安定的かつ効率的な提供を行うため、中央図書館地下書庫に設置されている電動書架のリニューアル工事を行った（5か年計画の1年目）。  地下書庫でリニューアルした箇所については、老朽化により発生していた不具合が起らず、図書館資料の安定的かつ効率的な提供を行うことができた。

38	子育て支援施設への返却ポストの試行設置  《教育費○一般管理経費》 [図書館]	予算 決算	315 269	第2次武蔵野市子ども読書活動推進計画に基づく乳幼児期の読書支援の一環として、保護者が図書館を利用しやすくなるよう市内の子育て支援施設1か所に返却ポストを試行設置した。  令和5年度は0123はらっぱに返却ポストを設置して785冊の資料返却があった。子育て世代の資料返却の機会が増えたことにより、図書館利用の促進につながった。
----	--	----------	------------	--

### 基本施策7 まちの魅力を高め豊かな暮らしを支える産業の振興

39	勤労者互助会補助  《労働費○勤労者互助会の運営補助》 [産業振興課]	予算 決算	23,000 23,000	市内の中小企業の事業主及び勤労者を対象に福利厚生事業等を行う武蔵野市勤労者互助会に対して補助を行った。  安定した運営がなされ、会員向けの福利厚生事業が滞りなく実施され、勤労者の福利の増進に貢献した。
40	認定農業者等経営改善支援補助事業  《農業費○農業振興事業》 [産業振興課]	予算 決算	10,385 5,938	農業者が経営の改善を進めようとする計画を本市が認定し、認定農業者等に対して補助等の支援を行った。(認定農業者:農業経営基盤強化促進法、都市型認定農業者:武蔵野市都市型認定農業者経営改善支援補助金交付要綱) 認定農業者及び都市型認定農業者が5年後の経営改善目標を達成するために農機具材購入などの基盤整備を行う場合、1戸当たり年間66万円(都市型は33万円)を上限に経費の2分の1以内を補助した。 ・補助件数:27件  認定農業者及び都市型認定農業者の持続的かつ安定的な農業経営の改善に寄与した。
41	都市農地保全支援プロジェクト  《農業費○農業振興事業》 [産業振興課]	予算 決算	6,532 1,671	東京の農地の確保及び保全、その有効活用を図っていくことを目的とした東京都の補助事業を活用し、市の補助と合わせて農業者の支援を行った。事業費の4分の3を東京都が、8分の1を市が補助した。 ・補助件数:1件  農地の持つ防災や環境保全などの多面的機能をより発揮させるとともに、地域住民に配慮した基盤整備により貴重な都市農地の保全を進めた。予定していた2件のうち1件が取下げになったほか、追加要望1件については、調整していたものの実施には至らなかった。
42	商店街チャレンジ戦略支援事業  《商工費○商工振興事業》 [産業振興課]	予算 決算	44,146 45,874	東京都と連携した「商店街チャレンジ戦略支援事業」を実施した。 ・イベント事業 17件 42,979,000円 ・活性化事業 4件 1,344,000円 ・地域力向上事業 5件 1,078,000円 ・政策課題対応型 3件 473,000円  商店会が主催するイベント事業等への支援を行い、商業の振興を推進した。令和4年度の補助金額と比較すると、イベント事業は約20%増、活性化事業は約265%増、政策課題対応型は約6%増となった。
43	商工会議所補助金  《商工費○商工振興事業》 [産業振興課]	予算 決算	30,000 30,000	「Musashinoごちそうフェスタ」「武蔵境活性化委員会補助事業」等の商工会議所が実施するイベントなどの事業に係る経費を補助した。  地域事業者が安定的な経営ができるようになることにより、市内商業の発展に寄与した。
44	商店会組織力強化のための企画提案型補助金  《商工費○商工振興事業》 [産業振興課]	予算 決算	8,000 7,724	商店会が組織力を必要とする商業活性化事業の企画を募り、補助事業相談会による審査を経て、実施が決定されたものについて補助を行った。  市内商店会が各地域の特性に合わせた事業を推進し、令和5年度は夏祭りやデジタルスタンプラリーなど、10事業を対象とし、前年度から補助件数は5件から10件に増え、補助金額は約35%増となった。

45	創業・事業承継支援  《商工費○商工振興事業》 [産業振興課]	予算 決算	1,601 1,508	むさしの創業・事業承継サポートネットの支援機関及び認定創業支援施設と連携し、創業・事業承継の支援を行った。 相談実績 ・創業個別相談（日本政策金融公庫） 46件 ・創業個別相談（多摩信用金庫） 46件 ・創業個別相談（マネジメントブレーン） 93件 ・出店個別相談（（公社）東京都宅地建物取引業協会・全日本不動産協会） 1件 ・事業承継個別相談（東京都多摩地域事業承継・引継ぎ支援センター） 2件  相談件数は令和4年度の121件から55.3%増の188件となり、高まる創業のニーズに応えた。
46	第三期武蔵野市産業振興計画の策定  《商工費○商工振興事業》 [産業振興課]	予算 決算	7,830 7,944	令和4年度に実施した産業振興基礎調査に基づき、第三期武蔵野市産業振興計画（令和6年度から令和10年度まで）を策定した。計画策定にあたっては、産業振興審議会及び専門部会での審議に加え、多様な市民意見を計画に反映することを目指して市民等ワークショップ（参加24人）、トークセッション（参加72人）、計画案周知パネル展示及びパブリックコメント（意見提出9人、35件）を実施した。
47	路線商業活性化総合支援事業  《商工費○路線商業活性化総合支援事業》 [産業振興課]	予算 決算	6,600 6,600	複数の路線商店会が実施する共同事業を支援するため、各地区商連が地区ごとに実施するスタンプ等共同事業を支援した。  路線商店街の「にぎわい」「ふれあい」の創出や活力ある商店街づくりに寄与した。
48	商店会地区サポート事業  《商工費○路線商業活性化総合支援事業》 [産業振興課]	予算 決算	2,000 2,000	商店会同士のさらなる連携強化、デジタル化の推進及び事務局機能強化のため、地区商連等が実施する事業に対し、経費の2分の1を補助した。令和5年度は中央地区で試行実施した。  中央地区商店連合会会員や商店会会長同士の情報共有の効率化が図られ、中央地区の商店会の活性化を推進した。
49	中小規模事業者等への補助事業  《商工費○利子補給等事業》 [産業振興課]	予算 決算	61,335 53,327	事業資金融資あっせん制度の利用者に対して、利子補給及び信用保証料の補助を行った。 ・中小規模事業者事業資金融資利子補給 件数 1,585件（9.4%増） 金額 33,151,062円（6.1%増） ・中小規模事業者事業資金融資信用保証料補助 件数 175件（31.5%増） 金額 15,877,785円（21.6%増） ・小規模事業者経営改善資金融資利子補給 件数 161件（11.8%増） 金額 2,589,260円（9.5%減）  あっせんした融資に対する諸経費を補助することで、事業者の経営活動の下支えと安定に寄与した。
50	武蔵野桜まつり  《商工費○武蔵野桜まつり事業》 [産業振興課]	予算 決算	2,000 23,110	令和6年3月31日に第32回武蔵野桜まつりを5年ぶりに対面開催した（従来は4月の第一日曜日に開催していたが、3月の最終日曜日の開催へ変更した）。 事業費 2,000千円…第31回のWeb開催 事業費21,110千円…第32回の対面開催  第32回武蔵野桜まつりにおいて、来場者数は過去最大の延53,800人となった。  友好都市との交流をより一層深めるために、各友好都市の特産品が当たる抽選会を開催し、各都市の首長等に直接紹介していただく企画を行い、来場者及び各友好都市から高い評価を得た。
51	産業連携プロジェクト CO+LAB MUSASHINO事業 （コラボ むさしの）  《商工費○産業連携プロジェクト事業》 [産業振興課]	予算 決算	5,023 3,710	令和4年度に引き続き、「食と農」をテーマに市内農家と市内飲食店の連携促進を図った。飲食店が市内産農産物を使用したコラボ商品を開発し、市内イベント等に出店することで、事業PRを行った。  令和5年度においては、市内飲食店40事業者が参加し、80品目のコラボ商品の開発に繋がった。また、飲食店同士が自主的に連携し、独自にコラボ商品を開発する動きにもつながった。

52	武蔵野市ふるさと応援寄附の充実  《商工費○武蔵野市ふるさと応援寄附》 〔産業振興課〕	予算 決算	45,112 47,120	「市の魅力発信」「地域産業振興」「市政の充実と未来への財源確保」の3つの基本コンセプトを軸に、市内外の方に共感していただけるような寄附金の使い道や魅力的な返礼品を用意し、積極的に本市のPRを行った。  制度を通じた市の魅力発信と体験型返礼品の提供により、来街者が増加するきっかけづくりを充実させた。 ・寄附件数(入金ベース)：1,274件 ・寄附金額(入金ベース)：34,056,000円
53	武蔵野市商店会活性出店支援金  《商工費○中小企業者等追加経済対策事業》 〔産業振興課〕	予算 決算	74,476 69,245	令和2年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響等に対する緊急経済対策として、市内の空き店舗や空き事務所に店舗、商店会等に加入した中小企業者等に対し最大60万円(出店時30万円、出店後6か月経過時30万円)を支給した。 ・令和4年度中出店のうち6か月経過時支給 74件、22,200,000円 ・令和5年度中出店のうち出店時支給 112件、33,600,000円 ・令和5年度中出店のうち6か月経過時支給 39件、11,700,000円  令和5年度の新規出店(支給対象)は前年度98件から14.3%増の112件となり、商店会の活性化に寄与するとともに、活力とにぎわいのあるまちづくりの推進に寄与した。

#### (4) 緑・環境

##### 基本施策1 刻々と変化する環境問題への対応

1	気候危機打開武蔵野市民活動プラン(仮称)の作成  《衛生費○環境啓発施設事業》 〔環境政策課〕	予算 決算	8,397 7,623	令和4年度に開催した気候市民会議での議論や意見を踏まえて、市民一人ひとりが当事者として取り組める気候変動対策の具体的な行動と、行動を実践していくために後押しとなる情報を掲載した「気候危機打開!むさしの市民エコアクション」の冊子を作成し、全戸配布を行った。 (市内全戸配布) 83,830部  市民から支持の高い気候変動対策の具体的な行動を紹介するとともに、後押しとなる助成制度等の情報提供を行うことにより、市民の気候変動対策への理解と行動変容の促進を図った。
2	環境啓発施設事業  《衛生費○環境啓発施設事業》 〔環境政策課〕	予算 決算	14,001 11,914	むさしの環境フェスタ、連続講座「環境の学校」、高校・大学生対象の「環境の学校Youthプロジェクト」、環境展、活動発表をする「むさしのエコ・チャレンジ」、植物育成し日影等て涼をとる「緑のカーテン」及びエコレポートワークショップを開催した。 (来館者数) 92,416人/年  環境問題に対する市民の関心を高め、環境配慮行動を促すことができた。
3	雨水浸透施設等助成事業  《衛生費○水環境等対策推進事業》 〔下水道課〕	予算 決算	35,700 16,775	住宅への雨水浸透施設や雨水タンクの設置に係る材料費や設置費に対して助成金を交付した。 (雨水浸透施設助成件数) 40件 うち既存住宅 35件・新築住宅 5件 (雨水タンク助成件数) 25件 うち小型 7件・中型 18件  住宅への雨水浸透施設や雨水タンクの設置を促進し、流域治水、利水及び水循環を推進した。
4	緑ボランティア団体事業助成  《土木費○緑化推進事業》 〔緑のまち推進課〕	予算 決算	4,010 3,598	市立公園などを拠点として緑の保全、緑化推進及び維持に関する活動を行っている緑ボランティア26団体に対し、その事業経費の一部を助成し、活動の発展を促すとともに、団体間の横の繋がりが図られるよう連絡協議会を開催した。また、市民が緑に親しむ機会を創出するためのイベントを実施した。 (イベント実績) 緑の創作園オープンガーデン(5月20日) 農業ふれあい公園夏祭り(7月2日) 木の花小路公園七夕まつり(7月7日、8日) 農業ふれあい公園秋の収穫体験会(10月28日) 木の花小路公園紅葉ライトアップ(12月1日～3日)  市民活動による公園の維持管理や緑化推進・啓発を図った。

基本施策2 地球温暖化対策の推進

<p>5 むさしのゼロカーボン大賞事業 (仮称)</p> <p>《衛生費○環境対策推進事業》 [環境政策課]</p>	<p>予算 決算</p>	<p>500 92</p>	<p>事業名を「むさしのエコの実大賞」と正式に定め、環境に配慮した取組みを募集し、応募があった取組みについてエコreゾート公式SNSで配信を行ったほか、入賞作品については、「気候危機打開！むさしの市民エコアクション」において、市民の優れた取組みとして紹介した。 (応募件数) 15件 大賞、優秀賞(2件)及び子ども部門賞を選定</p> <p>市域の温室効果ガス削減に向けて、市民の環境に配慮した優秀な取組みを紹介することにより、活動の輪を広げていききっかけづくりを行うことができた。</p>
<p>6 家庭向け再エネ電気切替協力金支給事業</p> <p>《衛生費○環境対策推進事業》 [環境政策課]</p>	<p>予算 決算</p>	<p>4,134 1,192</p>	<p>2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、実質再エネ100%の電気に切り替えた家庭に対し、協力金を支給した。 (支給件数) 54件</p> <p>「気候危機打開！むさしの市民エコアクション」に掲げた行動を後押しする支援策を実施することにより、家庭におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減の取組みを推進した。</p>
<p>7 効率的なエネルギー活用推進助成事業</p> <p>《衛生費○環境対策推進事業》 [環境政策課]</p>	<p>予算 決算</p>	<p>14,535 21,470</p>	<p>住宅の省エネ・創エネ化を推進するため、太陽光発電システム等の省エネ・創エネ機器の設置費用の一部を助成した。既設窓の断熱改修については、分譲マンションの管理組合も交付対象に加え、拡大を図った。 (助成金交付件数) 太陽光 59件 エネファーム 121件 高断熱窓 44件(うちマンション管理組合1件)</p> <p>市域の温室効果ガス排出量の削減に向けて、省エネ・創エネ機器の設置を促進し、家庭における効率的なエネルギーの活用を推進した。</p>
<p>8 環境舗装事業</p> <p>《土木費○環境舗装事業》 [交通企画課、下水道課]</p>	<p>予算 決算</p>	<p>33,586 21,626</p>	<p>交通量が少ない生活道路の改修工事で透水性舗装を実施した。 (施工延長) 174.7m (舗装面積) 713.6㎡</p> <p>地下水のかん養による健全な水循環を確保し、雨水の河川への流出の抑制に寄与した。</p>
<p>9 公共施設の実質再エネ100%電力の導入</p> <p>《各款共通○普通財産の維持管理、 ○コミュニティセンターの管理運営・コミュニティ活動、○市民文化会館の管理運営、○芸能劇場の管理運営、○公会堂の管理運営、○吉祥寺シアターの管理運営、○障害者福祉センター管理運営事業、○高齢者総合センター管理運営事業、○北町高齢者センター管理運営事業、○桜堤ケアハウス管理運営事業、○保健センターの管理運営、○環境対策推進事業、○武蔵野クリーンセンターの管理運営、○商工会館管理運営事業、○校舎等施設維持管理、○武蔵野ふるさと歴史館の管理運営、○一般管理経費、○吉祥寺図書館の管理運営》《下水道事業会計》 [環境政策課]</p>	<p>予算 決算</p>	<p>8,775 7,994</p>	<p>2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、市が率先して、小中学校等の市内の高圧受電の公共施設49施設に実質再エネ100%電力を導入した。</p> <p>約4,600 tのCO<sub>2</sub>が削減され、市域における温室効果ガスの削減を促進した。</p>

基本施策3 「緑」を基軸としたまちづくりの推進

10	公園等建設事業  《土木費〇公園等建設事業》 〔緑のまち推進課〕	予算 決算	548,995 671,937	魅力的で安全・安心な潤いある都市環境の推進を目指し、公園施設の改修を行うとともに、子どもたちの遊び場の充実を図るため、千川さんかく公園の新設、西久保はらっぱ公園の拡充並びに中央高架下公園（二期）及び西久保児童公園のリニューアル工事を実施した。また、吉祥寺東町二丁目の十一小路緑地の用地（500.02㎡）の買戻しを行った。  樹木地と草地の増加、地域のニーズに合った魅力ある公園・緑地を創出することができた。
11	緑の基本計画2019 中間まとめの策定  《土木費〇緑化推進事業》 〔緑のまち推進課〕	予算 決算	2,442 2,585	「緑の基本計画2019」について計画後期の取組みにつなげるため、個別・具体的取組状況の把握・検証や学識者へのヒアリングを行い、「緑の基本計画2019中間まとめ」を策定した。
12	保存樹林等の指定及び助成  《土木費〇緑化推進事業》 〔緑のまち推進課〕	予算 決算	17,536 14,723	民有地の緑を守る一環として、保存樹林などの指定制度により、所有者の適正な維持管理を支援するため、助成金の交付、樹木医の派遣及び倒木保険への加入などの取組みを行った。また、豊かな緑のある景観を継承するため、市指定文化財と連携した新たな助成を行った。 (保存樹林などの指定) 保存樹木総数941本（うち文化財である保存樹木7本） 生垣総延長4,556m、保存樹林総数3件、総面積6,538㎡ (樹木診断) 2か所  所有者の維持管理の負担軽減を図り、民有地の緑の保全を推進した。
13	「二俣尾・武蔵野市民の森」と 「奥多摩・武蔵野の森」の森林 整備  《土木費〇緑化推進事業》 〔緑のまち推進課〕	予算 決算	7,767 7,370	二俣尾・武蔵野市民の森に関する協定書に定める協定区域9.86haの整備及び利用啓発を実施した。二俣尾自然体験館及び管理棟の維持管理を行った。森の市民講座を5回、森林整備啓発事業（自然観察会）を5回開催した。また、奥多摩・武蔵野の森に関する森林整備協定書に定める協定区域94.17haのうち、3.35haの保全整備を実施した。  森林が持つ水源涵養、地球温暖化防止などの多面的機能に着目し、さまざまな主体と連携しながら森林保護・育成などを推進した。また、市民講座等の実施により、市民の森林保護・育成への意識向上に寄与した。
14	未来へ育て！苗木すくすく大木 計画  《土木費〇緑化推進事業》 〔緑のまち推進課〕	予算 決算	876 409	減少傾向にある民間の緑を育むことを目的とし、新築記念樹の配布など、配布方法や対象を多様化して事業を展開した。 (配布実績) 配布樹種：ハナミズキ、コブシ、シマトネリコ、モミジ、ヒメシャラ 新築記念樹：48本（令和5年6月、9月、12月、令和6年3月） 一般配布：34本（令和6年3月）  相乗的な緑化推進、啓発効果により、潤いのある緑豊かな都市環境の創出に貢献した。
15	仙川水辺環境整備事業  《土木費〇仙川水辺環境整備事業》 〔緑のまち推進課〕	予算 決算	12,616 12,584	「仙川水辺環境整備基本計画（仙川リメイク）の評価と今後の方向性について」に基づき、市内唯一の一級河川である仙川を生態系豊かな水辺空間として保全していくため、整備済区間の維持管理を行った。  東京都水道局と協議・調整を継続し、河川維持水の確保に努めることで、生態系豊かな水辺空間の確保を促進した。

#### 基本施策 4 省エネルギー・省資源型の持続可能な都市の構築

16	3R推進事業  《衛生費〇ごみ減量と資源化推進事業》 [ごみ総合対策課]	予算 決算	519 503	リユース掲示板「むさしのエコポ」について、令和5年7月から電子申請を開始した。  利用者の使いやすさが大幅に向上し、申込数及び成約数が対前年比で約2倍に増加したことで、リユースを促進した。
17	塵芥処理事業（収集運搬業務）  《衛生費〇塵芥処理事業》 [ごみ総合対策課]	予算 決算	1,433,904 1,445,318	事業者に委託することで家庭から排出される一般廃棄物の収集運搬を行った。なお、可燃ごみの収集運搬業務については、苦情対応等を行う緊急対応業務も含めて一体的に委託した。  大きなトラブルなくごみの収集運搬を行ったことで、市民の生活環境を衛生的に保つことができた。
18	武蔵野クリーンセンターの安全・安定稼働  《衛生費〇武蔵野クリーンセンターの管理運営》 [ごみ総合対策課]	予算 決算	771,697 688,740	運営モニタリング等で施設運営業務の状況を適宜確認し、施設の安全・安定稼働を実施した。  安全かつ安定的なごみ処理施設の稼働により、市民の快適な生活環境を保全した。

#### 基本施策 5 様々な環境の変化に対応した良好な生活環境の確保

19	受動喫煙防止の推進  《衛生費〇駅前周辺清掃事業》 [ごみ総合対策課、健康課]	予算 決算	25,160 22,864	市内3駅周辺に設置している閉鎖型喫煙所（喫煙トレーラーハウス）の利用時間を新型コロナウイルスに係る行動制限の緩和に伴い2時間延長したほか、喫煙マナーアップに向けた各種啓発事業を行った。  路上喫煙対策、まちの美化及び受動喫煙対策を推進した。
----	--	----------	------------------	--

### (5) 都市基盤

#### 基本施策 1 個性あふれる魅力的な地域のまちづくり

1	吉祥寺エリアにおける駐車場整備ルールの検討  《土木費〇一般管理経費》 [まちづくり推進課]	予算 決算	3,500 2,662	吉祥寺エリアでは駐車場附置義務が建物更新を妨げ、また街並みの連続性を損なわせる傾向がある。東京都の条例改正により鉄道駅周辺における地域ルール制度が創設されたことを受け、柔軟な施設配置・集約化に向けた検討を行った。  ルールの検討に必要な事項や課題解決に向けた手法、留意点等を整理したことで、引き続き令和6年度に行う検討をより効率的に深める材料を調えることができた。
2	景観道路事業  《土木費〇景観道路事業》 [交通企画課、用地課]	予算 決算	245,392 114,963	武蔵野市景観道路計画に基づき、無電柱化整備路線の検討及び設計を行った。また、景観道路整備として、市道第16・177号線の電線共同溝連系引込管工事及び道路改修工事を行った。  無電柱化整備路線における課題整理を体系的にとりまとめることができ、市道第16・177号線においては電柱が撤去され、景観整備が進捗した。

#### 基本施策 2 将来にわたり持続性ある都市基盤づくり

3	資材置場整備工事  《土木費〇道路維持管理》 [道路管理課]	予算 決算	49,811 51,117	老朽化等の課題を有している資材置場を縮小し、その余剰地へ公園等を配置する工事を実施した。  資材置場の更新と合わせて公園等を配置することで、地域のにぎわいを創出した。
4	装飾街路灯（水銀灯）LED化事業  《土木費〇街路灯維持管理》 [道路管理課]	予算 決算	98,000 79,323	市内にある装飾街路灯（水銀灯）のLED化を実施した。  令和5年度から2か年で実施する対象約400基のうち、242基（約60%）のLED化を達成し、市民の安全・安心の向上、環境負荷の軽減に寄与した。

5	橋りょう長寿命化事業  《土木費〇橋りょう新設改良事業》 [道路管理課、交通企画課]	予算 決算	120,257 116,303	「橋りょう長寿命化計画」に基づき、橋りょうの定期点検などを行うとともに、よろず橋の架け替え工事を実施した。 (点検・工事実績) 定期点検：8橋定期点検完了 補修設計：2橋補修設計完了 補修工事：2橋補修工事完了 よろず橋架け替え工事：令和5年8月竣工  計画的に予防保全型の維持管理を行うことで、橋りょうの長寿命化及び安全性の確保を推進した。
6	配水管網整備推進事業  《水道事業会計》 [工務課]	予算 決算	325,745 282,260	災害時にも安全で安定的な水道水の給水ができるように、配水管の新設及び更新を行った。 (工事内容) 配水補助管改良工事 5件 施工延長 1,469m 受託工事 1件  管路耐震化率は昨年度から0.5ポイント増加し、49.2%を達成し、配水管路の耐震化を進めた。
7	浄水場・水源施設維持更新事業  《水道事業会計》 [工務課]	予算 決算	117,587 131,461	円滑かつ効率的に水道水を供給するため、浄水場・水源施設保全計画に基づき、浄水場施設及び水源施設の維持・更新を図った。 (工事内容) 浄水場施設工事 7件 水源施設工事 3件  当初計画どおり事業を執行し、円滑かつ効率的に水道水の供給ができた。
8	下水道ストックマネジメント推進事業  《下水道事業会計》 [下水道課]	予算 決算	474,090 536,937	武蔵野市下水道ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設の点検・調査、修繕・改築工事を実施した。 点検：9,862m 調査：6,754m 修繕：管きょ修繕工事(6スパン:16か所) 改築：管きょ改築設計(2スパン)、管きょ改築工事(7スパン※)、ポンプ更新(桜堤ポンプ所) ※令和4年度繰越分2スパンを含む。  下水道施設全体を対象とした計画的な点検・調査及び修繕・改築により安定的・持続的な下水道機能を確保した。
9	公共下水道建設事業  《下水道事業会計》 [下水道課]	予算 決算	38,663 0	東京都の道路拡幅事業に合わせて下水道管きょの布設替え等の実施設計及び工事を予定していたが、進捗状況等により、工程が変更となったため、実施時期が令和6年度以降に変更となった。
10	区部流入及び流域下水道建設・改良負担金  《下水道事業会計》 [下水道課]	予算 決算	128,304 117,234	本市が排出する下水の処理を委託等している東京都の水再生センター及び関連下水道幹線等の施設に係る建設・改良に要する費用を負担した。  森ヶ崎水再生センター建設負担金 77,752千円 多摩川左岸野川流域下水道建設負担金 9,954千円 荒川右岸東京流域下水道建設負担金 14,358千円 流域下水道改良負担金 15,170千円
11	長期包括契約方式の試行的導入  《下水道事業会計》 [下水道課]	予算 決算	12,609 12,897	今後の老朽化対策による事業量増加への対応や効率的な事業運営等を安定的に実施するため、令和6年度からの長期包括契約方式の試行的導入に向け、事業者選定、導入準備等を実施した。長期包括契約方式導入の業務内容の再整理、各種資料の作成等を行い、優先交渉権者選定方法等を事業者選定委員会で決定し、公募型プロポーザル方式により、事業者の選定を行い、基本契約を締結した。  下水道施設全体の計画的・効率的な管理による安定的・持続的な下水道サービスの提供を実現するための執行体制を確保した。
12	保健センター増築に伴う大野田ポンプ所の移設  《下水道事業会計》 [下水道課]	予算 決算	19,426 14,795	保健センター増築事業の基本設計と整合を図りながら、貯留槽やポンプ、操作盤の配置などを検討する基本設計を実施した。  保健センター増築事業の進捗状況を注視し、必要に応じて詳細設計等を実施していくこととした。

### 基本施策3 誰もが利用しやすい交通環境の整備

13	自転車のルール・マナー向上と 自転車利用環境の整備  《土木費○交通安全対策事業、○自 転車対策事業》 [交通企画課]	予算 14,393 決算 13,775	安全教育の充実のため、市内で自転車を利用する中学生以上を対象とした自転車安全利用講習会（武蔵野警察署共催）、企業などへの出張講習会並びに市立中学校2校及び市内都立高校1校に対するスタント講習会を開催した。また、自転車出張点検整備を3回実施した。さらに、武蔵野市自転車等駐車対策協議会を1回開催し、利用体系変更後の効果検証等を行った。 （自転車安全利用講習会） 回数：30回 受講人数：836人 （出張講習会） 回数：21回 受講人数：1,864人 （スタント講習会） 回数：3回 受講人数：1,055人  安全教育の充実を図るとともに、誰もが利用しやすい交通環境の整備を推進した。
14	放置自転車対策業務  《土木費○自転車対策事業》 [交通企画課]	予算 174,792 決算 174,791	放置自転車等の放置防止指導、撤去、保管及び返還業務を効率的に行った。 （放置自転車対策業務実績（自転車）） 駅前放置台数67台（前年度比+5台）※ 撤去回数720回（前年度比▲7回） 撤去台数1,616台（前年度比▲51台） 返還台数1,012台（前年度比+4台） ※平日の午前・午後における、市内3駅周辺の自転車等停留実態を把握するため毎年実施している調査において把握した午前10時における自転車放置台数  道路、駅前広場等、公共の場所において良好な環境の確保に寄与した。
15	ムーバス運行事業  《土木費○ムーバス運行事業》 [交通企画課]	予算 175,616 決算 138,901	ムーバスの運行及び利用実態調査等を行った。 （ムーバス利用実績 年間乗客数／1日平均乗客数） 令和5年度 2,476,474人／6,766.3人 令和4年度 2,266,008人／6,208.2人 令和3年度 1,843,619人／5,051.0人 令和2年度 1,734,842人／4,753.0人 （ムーバーク利用実績） 収容台数：38台 利用台数：22,383台 1日平均：61.2台（土日祝1日平均：69.9台）  バス交通空白・不便地域の解消と市民モビリティ向上を推進した。パークアンドライド事業により、吉祥寺中心部の交通混雑緩和に寄与した。
16	道路新設改良事業  《土木費○道路新設改良事業》 [交通企画課]	予算 202,190 決算 142,652	武蔵野市道路総合管理計画に基づき、計画的に道路の改修工事を実施した。市道第85号線は交差点改修に合わせてバリアフリー整備を実施した。 （施工延長） 847.9m （舗装面積） 車道2,794.0㎡、歩道715.9㎡  道路サービスにおける安全性を向上させるとともに、市道第85号線においては、横断歩道新設に合わせてセミフラット構造にすることで、バリアフリー化を進めた。

### 基本施策4 安全で快適な道路ネットワークの構築

17	都市計画道路の調査・検討  《土木費○一般管理経費》 [まちづくり推進課]	予算 7,559 決算 5,148	武蔵野プレイス西側の都市計画道路3・4・27号線について、武蔵境駅周辺における交通環境の変化等を踏まえた方向性を示したうえで、引き続き検討を進めた。また、令和6年1月16日に都市計画変更（原案）の説明会を実施するとともに、都市計画審議会に諮問した。
----	--	----------------------	--

18	区画道路整備事業  《土木費〇区画道路整備事業》 [交通企画課、用地課]	予算 決算	73,762 83,069	区画道路整備事業の買収予定地における測量調査や事業協力を得た 拡幅用地の仮整備工事等を実施した。また、市道第79号線の道路整 備工事（施工延長135.8m）を実施し、当該路線における暫定整備工 事は完了した。  市内交通の円滑化、防災性の向上に寄与した。
19	狭あい道路拡幅整備事業  《土木費〇狭あい道路拡幅整備事 業》 [道路管理課]	予算 決算	86,281 100,913	建替え等に合わせて狭あい道路の拡幅整備を行った。 （整備実績） 延長：約2,127m、面積：約475㎡  狭あい整備率は昨年度から1.2%増の約38.1%（令和6年3月31日現 在）を達成し、安全で快適なまちづくりを推進した。

#### 基本施策5 安心して心地よく住み続けられる住環境づくり

20	あんしん住まい推進事業  《土木費〇住宅対策事業》 [住宅対策課]	予算 決算	3,032 297	住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への入居支援を実施し、転居及び 入居継続につなげた。 （支援実績） 利用申請23件、物件紹介案件11件、成約4件 少額短期保険2件、見守り支援2件、 緊急通報装置設置及び利用助成1件、債務保証委託料助成1件  住宅確保要配慮者が住み慣れた地域で安心して住み続けられる住環 境づくりを進めた。
----	--	----------	--------------	--

#### 基本施策6 活力とにぎわいのある駅周辺のまちづくり

21	吉祥寺パークエリア まちの将来像策定に向けた地域 展開  《総務費〇企画調整》 [企画調整課]	予算 決算	8,860 8,595	令和5年3月に作成した「吉祥寺パークエリアまちの将来像立案に 向けて」の周知とともに、オープンハウス、社会実験及びまち歩き 企画を実施した。  市民やまちの関係者に対し、まちの将来像立案に向けた機運醸成を 促進した。
22	三鷹駅北口交通環境基本方針の 策定  《土木費〇一般管理経費》 [まちづくり推進課]	予算 決算	10,948 10,508	令和4年度に実施した「三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向け た考え方」に対する地域の方々等との意見交換を踏まえて、「三鷹 駅北口交通環境基本方針」を策定し、関係者へ周知を図り、理解が 深まった。
23	都市計画道路3・3・14号線 南口駅前広場事業  《土木費〇都市計画道路3・3・1 4号線南口駅前広場事業》 [吉祥寺まちづくり事務所]	予算 決算	62,000 0	事業継続中の吉祥寺駅南口駅前広場の用地折衝を庁内関係部署と連 携して進めた。
24	吉祥寺ウエストエリアの 交通環境改善調査  《土木費〇吉祥寺方式物流対策事 業》 [吉祥寺まちづくり事務所、交通企 画課]	予算 決算	2,981 2,088	吉祥寺ウエストエリアの交通規制、交通実態等から歩行環境におけ る課題を整理するとともに、その改善に向けた方策を検討した。  吉祥寺ウエストエリアの住環境と商業環境の調和を目指し、安心し て歩ける歩行環境と必要な自動車アクセスの両立に向けた検討を進 めた。
25	吉祥寺駅南口周辺交通体系検討  《土木費〇吉祥寺駅周辺整備計画》 [吉祥寺まちづくり事務所、交通企 画課]	予算 決算	9,409 8,228	令和4年度末に取りまとめた「吉祥寺駅南口交通環境基本方針の策 定に向けた考え方」に基づき、関係機関との意見交換や技術的検討 を行った。  吉祥寺駅南口を中心とした交通環境の改善に向けた検討を進めた。
26	（仮称）吉祥寺本町一丁目27番 街区自転車駐車場整備  《土木費〇自転車対策事業》 [交通企画課]	予算 決算	117,600 117,600	吉祥寺本町一丁目27番街区における自転車駐車場の新設工事を実施 し、吉祥寺クックロード自転車駐車場として11月1日に供用を開始 した。同23番街区の吉祥寺駅東暫定一時利用自転車駐車場は10月末 をもって閉鎖し、吉祥寺クックロード自転車駐車場への集約化を進 めた。  活力とにぎわいのある駅周辺のまちづくりに寄与した。

27	都市計画道路（天文台通り）の整備促進  《土木費○都市計画道路3・4・2号線事業》 [交通企画課、用地課]	予算 決算	712,570 447,123	第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業として東京都から受託し、用地取得に向け、土地の調査及び測量並びに分筆登記資料の作成を行った。  令和5年度は約211㎡の用地を取得し、用地進捗率は34.1%となった。
----	--	----------	--------------------	--

## (6) 行財政

### 基本施策1 市民参加と連携・協働の推進

1	住民投票制度確立に向けた論点整理  《総務費○企画調整》 [企画調整課]	予算 決算	3,042 1,063	「住民投票制度に関する有識者懇談会」を計7回開催し、本市の自治にふさわしい制度として確立するための市民熟議に向けて論点整理を行った。  懇談会の議論を踏まえ、将来の検討資料として「武蔵野市自治基本条例に基づく住民投票制度—有識者懇談会事務局による論点整理—」を事務局で作成した。
2	第六期長期計画・調整計画の策定  《総務費○第六期長期計画・調整計画策定》 [企画調整課]	予算 決算	14,000 14,165	令和6年度から令和10年度までの5年間を計画期間とする武蔵野市第六期長期計画・調整計画を、市民委員で構成される策定委員会を中心に、市民参加、議員参加、職員参加をはじめとする「武蔵野市方式」により策定した。  中高生世代との意見交換会のほか、計画案公表後に対面やオンラインでの意見交換会、パブリックコメントなど幅広い意見聴取を実施し、計画策定の参考とすることができた。また計画を周知するため、市報特集号を作成したほか、公募で集まった中高生によるPR動画などを作成・公開した。  ・計画案に対し意見交換会等で頂いた意見 829件 ・参加者 中高生意見交換会27人、市民意見交換会（オンラインを含む。）66人、パブリックコメント62人

### 基本施策2 効果的な広報・広聴の仕組みづくりとシティプロモーション

3	インターネットによる議会中継  《議会費○議会運営》 [議会事務局]	予算 決算	11,472 11,291	本会議、常任委員会、外環道路特別委員会及び予算・決算特別委員会のインターネット中継を行った。録画中継の配信に加え、令和5年5月より速報版の配信を新たに開始した。 ・生中継アクセス数 (32,883件) ・録画中継アクセス数 (11,906件) ・速報版アクセス数 (2,565件)  広く市民に議会審議及び審査の様態を伝えることができた。
4	議会だより発行  《議会費○議会だより発行》 [議会事務局]	予算 決算	7,101 6,230	議会だよりを発行した。 年5回発行（4色刷、延28頁・447,400部、延431,302部全戸配布）  市議会に関する情報を広く市民に伝え、市民の議会に関する関心を高めることに寄与した。
5	市民と市長のふれあいトーク  《総務費○広聴活動》 [市民活動推進課]	予算 決算	465 143	市民との対話を通じて、さまざまな意見や提案を聴き、今後の市政運営に活かすため「市民と市長のふれあいトーク」をテーマ別（少人数型）と地域別（多人数型）の2回開催した。  テーマ別では、市内で活動している団体や個人計12人と意見交換を行い、地域別では、コミュニティ協議会と共催し、地域における課題等について40人の参加者との対話を通じて、市民ニーズの把握を行った。

### 基本施策3 公共施設等の再構築と市有地の有効活用

6	吉祥寺本町一丁目23番街区利活用に関する検討  《総務費○企画調整》 [企画調整課、市民活動推進課]	予算 決算	3,000 18	吉祥寺本町一丁目23番街区の利活用について、本町コミュニティセンターの移転に合わせて複合化する場合の施設用途に関し、地域や利用者へのアンケートの実施や庁内検討委員会での検討を行った。  本地の利活用に関し、本町コミュニティセンターの移転や複合化する施設用途に関する検討を進めることができた。
---	---	----------	-------------	---

7	旧赤星鉄馬邸の利活用検討  《総務費○普通財産の維持管理、○資産活用事業》 [資産活用課]	予算 決算	13,478 13,870	有識者会議を開催した。また、意見聴取や周知するための社会実験、ワークショップ、一般公開及びオープンハウスを実施した。  意見聴取などの結果を踏まえて、有識者会議における助言や意見など検討の経過を報告書としてとりまとめた。これにより、保存活用計画の策定に進むための検討を完了させた。
8	市庁舎空調設備改修工事  《総務費○庁舎の維持管理》 [管財課]	予算 決算	117,688 117,687	市庁舎空調設備の経年劣化に伴い、4か年をかけて省エネルギー・低炭素化に配慮したビル用マルチエアコンに更新する。  影響を受ける庁内各課等へ説明会を開催するとともに周知を行い、既存の空調設備を継続使用しながら改修工事を行った。業務に支障を出すことなく、安全に配慮し、工事工程どおりに改修工事を実施した。工事進捗率65%（令和5年度末）
9	公共施設劣化保全整備  《各款共通○庁舎の維持管理、○コミュニティセンターの管理運営・コミュニティ活動、○市民文化会館の管理運営、○芸能劇場の管理運営、○吉祥寺シアターの管理運営、○テニミリオンハウス事業、○介護保険施設等整備事業、○高齢者総合センター管理運営事業、○北町高齢者センター管理運営事業、○0123施設の管理運営、○市立保育園運営事業、○学童クラブ事業、○市営住宅維持管理、○消防施設維持管理、○校舎等施設維持管理、○中学校改築事業、○知的障害学級運営、○肢体不自由学級運営、○一般管理経費、○体育施設一般管理経費》 [施設課]	予算 決算	1,357,687 1,144,378	市庁舎、コミュニティセンター、文化施設、児童福祉施設、小中学校（学校改築事業を除く。）、生涯学習施設等について、劣化調査の結果に基づき設計や工事を実施した。 （主な実施内容） ・市庁舎空調設備改修工事・工事監理業務委託 ・西久保コミュニティセンター外壁改修工事 ・武蔵野芸能劇場空調設備等改修に伴う実施設計委託 ・本宿小学校給排水管等改修工事・工事監理業務委託  施設の機能維持及び長寿命化を図った。

#### 基本施策4 社会の変化に対応していく行財政運営

10	次期指定管理者の選定準備  《総務費○企画調整》 [企画調整課、市民活動推進課]	予算 決算	6,983 6,755	第5期指定管理者制度に関する基本方針等に基づき、次期指定管理者を公募する3施設に係る募集要項や要求水準書、選定基準等について、指定管理者候補審査委員会での意見も踏まえて作成した。  令和6年度の公募の際に、公平性を担保するとともに、計画的で質の高い運営をする事業者を選定する準備が整った。
11	指定管理者に対する労働条件審査  《総務費○企画調整》 [企画調整課]	予算 決算	660 660	指定管理者である団体に対し、人事・労務関係法令遵守の観点から、社会保険労務士による労働条件の点検を行った。 対象団体：（公財）武蔵野文化生涯学習事業団及び武蔵野商工会議所 点検結果：重大な指摘事項なし  指定管理者の従業員等が、公の施設の管理運営業務に安定的・継続的に従事できる状況にあることが確認できた。
12	最高情報責任者（CIO）補佐官の任用  《総務費○一般管理経費》 [情報政策課、総務課]	予算 決算	1,212 1,200	令和4年度に引き続き、外部のICT専門人材を最高情報責任者（CIO）補佐官として任用し、自治体DX全体のマネジメントへの支援や実践意識の醸成等を推進した。  CIO直轄DX推進プロジェクトのコーディネートを通してオンライン申請等を進めたほか、窓口業務の改革等に取り組んだ。
13	住民情報系システムの標準化への対応  《総務費○住民情報系システム》 [情報政策課]	予算 決算	195,756 55,661	地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づき、住民情報系システムを国が定める標準化基準に適合させるため、各業務システム改修の検討を行ったほか、ガバメントクラウドの実証事業を行い、構築作業を進めた。
14	情報システム仮想化基盤更改  《総務費○住民情報系システム》 [情報政策課]	予算 決算	184,010 157,467	市民サービスを継続的に提供するため、情報システムを運用するための仮想化基盤の更改により、安定して利用できる環境整備について検討を進めた。令和5年度は構築事業者を選定し、構築作業に取り組んだ。

15	デジタル化推進アドバイザーの活用  《総務費○住民情報系システム》 [情報政策課]	予算 決算	8,000 7,403	令和4年度に引き続き、デジタル化の推進に係るアドバイザー業務を専門のコンサルタント事業者に委託し、新たなICTの導入に伴う効果や経費の妥当性評価、業務改善への支援等を行った。  ・ICT導入経費の査定支援（削減額13,606,829円） ・DX相談会などを通じたツール導入、業務改善手法に関する検討、助言及び提案 45件（DX相談会（年2回開催）：17件（15部署）、その他：28件（23部署）
16	RPAの活用  《総務費○住民情報系システム》 [情報政策課]	予算 決算	13,345 8,739	単純・反復業務を自動化するRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）について、紙帳票を電子化するAI-OCRと合わせて効果の高い業務を中心に活用し、業務改善を進めた。  34業務：1,277時間の削減を達成した。
17	文書の電子化の推進に係る取り組み  《総務費○内部統合情報システム》 [総務課、情報政策課]	予算 決算	31,448 31,394	紙媒体である行政文書の管理・保存業務の負担及び環境負荷軽減を図り、電子決裁を活用した意思決定の迅速化及び効率化を実現するため、新文書管理システムを導入した。  電子決裁の利用に伴い、電子データを正本として取り扱う場合の運用方法を整理したほか、事務連絡の標準処理手順を示すことにより、電子データの活用につながり、事務効率が改善した。
18	自動釣銭機付きPOSレジ及びキャッシュレス決済の導入  《総務費○市政センターの維持運営、○一般管理経費、○戸籍住民基本台帳事務》 [市民課、市政センター、市民税課]	予算 決算	4,808 2,544	市民課、市政センター及び市民税課の窓口における各種証明書の交付手数料について、自動釣銭機付きPOSレジ及びキャッシュレス決済を導入した。  窓口全体で、支払手数料の約15%がキャッシュレス決済の利用となった。また、自動釣銭機の導入により、釣銭の受渡しの煩雑さが緩和され、来庁者の利便性の向上と職員の負担軽減につながることができた。
19	滞納整理アドバイザーの活用  《総務費○市税の収納》 [納税課]	予算 決算	704 347	複雑化する滞納整理の適法性を確保するために、税に関する法律や実務に精通した専門人材をアドバイザーとして活用した。  21件の書面相談を行い、困難事例の解消に向けて適法性を確認した。また、職員の法務能力の向上の一助となった。

#### 基本施策5 多様な人材の確保・育成と組織の活性化

20	障害者の会計年度任用職員任用  《総務費○職員管理・給与事務》 [人事課]	予算 決算	10,994 2,892	障害者の就労支援及び雇用促進のため、障害のある会計年度任用職員（新規1人）を任用した。また、障害や障害者就労に対する職員理解の推進を図るため、障害者の庁内実習及び障害者就労の理解向上研修を実施した。  障害者の就労支援及び障害者就労に対する職員理解を促進した。
----	--	----------	-----------------	--

## Ⅱ 令和5年度基金の運用状況を示す書類

地方自治法第241条第5項の規定に基づき、令和5年度の基金の運用状況を報告します。

武蔵野市長 小美濃 安 弘

1 令和5年度国民健康保険高額療養費貸付金運用状況

(1)年度開始現在高 (単位 円)

繰越現金	貸付未収金	未払金	計 (運用金)
2,969,000	31,000	0	3,000,000

(2)運用状況

ア 現金収支の状況 (単位 円)

月別	収入額		支出額		差引残額
	収入額	累計	支出額	累計	
前年度繰越額		2,969,000		0	2,969,000
4	0	2,969,000	0	0	2,969,000
5	0	2,969,000	0	0	2,969,000
6	31,000	3,000,000	0	0	3,000,000
7	0	3,000,000	0	0	3,000,000
8	0	3,000,000	0	0	3,000,000
9	0	3,000,000	0	0	3,000,000
10	0	3,000,000	0	0	3,000,000
11	0	3,000,000	0	0	3,000,000
12	0	3,000,000	0	0	3,000,000
1	0	3,000,000	0	0	3,000,000
2	0	3,000,000	0	0	3,000,000
3	0	3,000,000	0	0	3,000,000
計	31,000		0		

イ 利子収入の状況 (単位 円)

上半期預金利子	14
下半期預金利子	14
計	28

(注)収入科目：一般会計 (16財産収入-1 財産運用収入-2 利子及び配当金-1 利子及び配当金-14市民生活総合基金利子収入)

## ウ 未収金及び未払金の状況

(単位 円)

未 収 金	未 払 金	差引債権額
0	0	0

## (3)運用結果

(単位 円)

区 分	次年度繰越額
現 金	3,000,000
貸付未収金	0
未 払 金	0
計 (運用金)	3,000,000

2 令和5年度国民健康保険出産費資金貸付金運用状況

(1) 年度開始現在高 (単位 円)

繰越現金	貸付未収金	未払金	計 (運用金)
3,000,000	0	0	3,000,000

(2) 運用状況

ア 現金収支の状況 (単位 円)

月別	収入額		支出額		差引残額
	収入額	累計	支出額	累計	
前年度繰越額		3,000,000		0	3,000,000
4	0	3,000,000	0	0	3,000,000
5	0	3,000,000	0	0	3,000,000
6	0	3,000,000	0	0	3,000,000
7	0	3,000,000	0	0	3,000,000
8	0	3,000,000	0	0	3,000,000
9	0	3,000,000	0	0	3,000,000
10	0	3,000,000	0	0	3,000,000
11	0	3,000,000	0	0	3,000,000
12	0	3,000,000	0	0	3,000,000
1	0	3,000,000	0	0	3,000,000
2	0	3,000,000	0	0	3,000,000
3	0	3,000,000	0	0	3,000,000
計	0		0		

イ 利子収入の状況 (単位 円)

上半期預金利子	14
下半期預金利子	14
計	28

(注) 収入科目：一般会計 (16財産収入-1 財産運用収入-2 利子及び配当金-1 利子及び配当金-14市民生活総合基金利子収入)

## ウ 未収金及び未払金の状況

(単位 円)

未 収 金	未 払 金	差引債権額
0	0	0

## (3)運用結果

(単位 円)

区 分	次年度繰越額
現 金	3,000,000
貸付未収金	0
未 払 金	0
計 (運用金)	3,000,000

3 令和5年度高額介護等サービス費貸付金運用状況

(1) 年度開始現在高 (単位 円)

繰越現金	貸付未収金	未払金	計 (運用金)
3,000,000	0	0	3,000,000

(2) 運用状況

ア 現金収支の状況 (単位 円)

月別	収入額		支出額		差引残額
	収入額	累計	支出額	累計	
前年度繰越額		3,000,000		0	3,000,000
4	0	3,000,000	0	0	3,000,000
5	0	3,000,000	0	0	3,000,000
6	0	3,000,000	0	0	3,000,000
7	0	3,000,000	0	0	3,000,000
8	0	3,000,000	0	0	3,000,000
9	0	3,000,000	0	0	3,000,000
10	0	3,000,000	0	0	3,000,000
11	0	3,000,000	0	0	3,000,000
12	0	3,000,000	0	0	3,000,000
1	0	3,000,000	0	0	3,000,000
2	0	3,000,000	0	0	3,000,000
3	0	3,000,000	0	0	3,000,000
計	0		0		

イ 利子収入の状況 (単位 円)

上半期預金利子	14
下半期預金利子	14
計	28

(注) 収入科目：一般会計 (16財産収入-1 財産運用収入-2 利子及び配当金-1 利子及び配当金-14市民生活総合基金利子収入)

ウ 未収金及び未払金の状況

(単位 円)

未 収 金	未 払 金	差引債権額
0	0	0

(3)運用結果

(単位 円)

区 分	次年度繰越額
現 金	3,000,000
貸付未収金	0
未 払 金	0
計 (運用金)	3,000,000